京城日報
THE KEIJO NIPPO
(年中無休刊)(日曜日祭日休刊) 大正七年五月二十五日
(明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可) 第三千八百三十三號 (一)
二十四日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢▲郵送に限り前金▲三ヶ月金一圓六十錢▲六ヶ月分金四[illegible]
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢▲二號七字詰一行一圓六十錢▲十三號十字詰一行一圓四十錢▲十四號廿字詰一行二圓二十錢▲六號廿字詰八十錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話(編輯)六千九番一、六千九番二(營業)六千九番三、六千九番四
振替口座京城三〇〇番

○聯合國海軍會議 對潜水艇戰に一歩を進めん

聯合國海軍會議は本月上旬より羅馬にて開催中なるが議題は地中海に於ける潜航艇に關するものにて對潜水艇戰に一歩を進むる結果となる可し日本よりは船越少將の後任たる海軍少將飯田久恆氏臨席し居れり(倫敦電報)

○俘虜人肉を食す 墺國饑饉慘狀=民衆の恐怖

墺太利の饑饉は驚く可き慘狀を呈し居れり維納のアノベーダーツアイツング新聞は俘虜が人肉を食したりとて瓦斯工場の職工是れを憤り右俘虜を殺害したる事件の取調べを要求したるを以て發賣を禁止されたり兵士が民家に到りて食を乞ふが如きは殆んど普通事にして全國民は昨年の例に倣ひ來る六、七、八月に至れば如何なる事になる可きやと戰慄し居れり昨年の右三月間は赤痢、窒扶斯等猖獗を極めたり(倫敦電報)

○大激戰期切迫か

アルベール地方に獨軍飛行隊大活動を開始せり一般に大激戰期切迫せるものと觀測せられつゝあり(倫敦電報)

○軍事協約と露國人 反過激派の歡喜

日支軍事協約成立に關し時節柄哈爾賓の露國人は非常の注意を拂ひ居れるが反過激派は是れを以て日本出兵の前提と認め歡喜し居れり(哈爾賓電報)

○穩和派意氣昂らず 示威運動團體の集合演說

廿二日午前十時穩和派の示威運動團體は停車場前に集合し各職業別團體代表者の熱烈なる演說ありたる後二萬の總勢は市內目貫の大通りを練り行きしも氣勢昂らず中には萬一の爲め爆彈を携帶せるものありたるも何事も無く靜穩に終了せり赤衛隊十數騎は騎馬にて行列を監視せり(浦鹽電報)

○セ軍敵の出鼻を衝く

最近過激派は七百名の水兵と七百名のオムスク、ドルジナ大隊の援を得て軍威大に振ひ十八日未明を期しセミヨノフ軍に向ひ攻擊を加へんとせるを探知したるセ軍は敵の出鼻を衝いて之れを破れり(哈爾賓電報)

○ス將軍重傷を負ふ

キエフに於てスコロパドスキー將軍殺害の陰謀企てられ同將軍は重傷を負ひたり(莫斯科電報)

○ホ長官軍需品徵發

ホルワット東淸鐵道長官は鐵道沿線在住者に對し軍需品徵發に關する命令を發せり該命令に據れば各司令官は命令を以て住民より其物資を徵發するを得可しと(哈爾賓電報)

○目賀田男敍勳

遣米經濟財政委員長目賀田種太郎男は勳一等に敍し瑞寶章を授けられたり(東京特電)

○揮發油値上

日本石油會社揮發油赤蝙蝠印一箱に就き九十錢三つ黑蝙蝠印五十五錢方値上せり(大阪特電)

○兩少將通過

日支軍事協約締結の爲め北京に滯在中なりし宇垣陸軍、吉田海軍兩少將は任務を終へ歸國の途次奉天より廿四日午前七時半安東通過南行せり(安東特電)

○陸大生釜山視察

淨法寺中將の率ゆる陸軍大學生一行七十名は廿四日朝五時四十分著釜大池、荒井に分宿伏兵山上に於て下本支部長の挨拶あり中將は釜山附近に於ける古蹟の講演を爲せり一行は午後市中の視察を爲し同八時半歸東の途に就く筈なり(釜山特電)

◎總督稅關長招待

長谷川總督は廿四日午後七時より會議の爲め入京中なる各稅關長を主賓とし官邸に於て晩餐會を開くべく山縣政務總監古海警務總長鈴木度支部長官荻田總務局長久見鐵道局長其他關係各課長武官副官秘書官等出席すべし

◎稅關長會議(第五日)

稅關長會議第五日は二十四日午前九時より總督府第二會議室に於て開會總督の指示及び諮問事項あて正午散會せるが本會議は同日を以て終了せり

◎定例官會議

二十四日午前九時より總督府第一會議室に於て定例長官會議開會一般政務に就き審議する所ありたり

◎國境兵營建設の急 軍司令部高級參謀 山本中佐談

總督一行に隨ひ豆滿江沿岸を視察して歸來せし軍司令部高級參謀山本中佐の談に曰く

豆滿江沿岸の露支國境を視察して吾々の痛感するのは兵營を現在の儘に投つて置いていけない、及ぶ限り速にその新設整備を圖らねばならぬと云ふ事である、羅南並に會寧の兵營は

▲防害設備 もその設計を遣憾なきに庶幾いけれど會寧より下流雄基に至る間に分駐せる八箇所の兵營は對岸の堂々たる露西亞兵營に比して非常な見すぼらしさであるのみならず、間島の支那兵營などに較べても餘程小さく又整つてゐない、國境に於ける兵備は先づ予等の考へを以てすれば撤退の期はいつか分るまいと思ふ、實際上現在位の兵備を置く事は邊域の靜謐を圖る上から必要だ、それならば國境第一線乃ち大玄關たる江岸の兵營は速に完全なものとしなければ外觀の振はぬのみならず駐屯の將校以下

▲兵士の辛勞 は並み大抵でない、玄關を飾ると云ふ事は日本の通り言葉になつてゐるが、朝鮮の兵營はどうも玄關を疎そかにしてゐるのでないかと云ふ感を禁じ得ないのである、外觀ばかりを目つて軍隊の內容はどうかと反問する人もあらうがその點は意を安んせられてよい、唯今の儘の兵舍ではどうも忍び兼ねる、慶源新阿山行營鍾城等八箇所の兵營中粗末なバラック建が出來てゐるのは二箇所位で他は皆鮮屋に入つてゐる、バラック建も甚だ振はぬもので將校宿所の如き四疊か四疊半の全然獨房然たる建て方であつてコレで

▲零下三十度 の酷寒を凌ぎ百度の大暑を避け軍隊の衞生狀態が良好なのを見ると寧ろ多少不思議な氣さへする、そのバラックも鮮屋兵營も補綴又補綴で頽廢に瀕してゐるのもあり新阿山の某將校の如き左樣な兵舍に二年も駐屯を續けてゐるとの事だつたがどうしても可及的速かに國境兵營新築の必要がある、長谷川總督も兵營の狀況を見られて大に同情を表せられてゐた、會寧は淸津に鐵道が通じ間島の龍井村にも琿春方面にも交通上の要衝となつてゐる明後年までに步兵の旅團司令部と步兵一個聯隊工兵一個大隊の駐屯地となるから兵舍の如き尙ほ〳〵

▲餘程增築を必要 とする然も土地は廣く餘地は十分にあるし兵營地としても將來有望の土地である、羅南は此行立寄らず歸路の羅津灣視察は行程の都合上果されなかつた、新聞紙上羅津灣が海軍々港の豫定地となるのであらうと云ふやうな說も出てゐたが將來は知らず總督の此行は左樣な意味のものでなく唯羅津灣を一應視察して置かうと云ふ位のものであつたでせう、旅中總督の元氣に就ては貴紙にも出てゐたが非常なものでした、一例を擧げると鍾城にて大雨に會し漸く

▲一日を滯留 した時の如き總督は豫定の如く雨を衝いて出發すると云はれるのでコレには一行が閉口し漸くその足止めを切々お賴みして漸く容れられ一息ついた始末でした

◎憲兵隊主計會議

憲兵隊司令部にては全道憲兵隊所屬主計を召集し二十四日より三日間主計會議を開催せり

◎咸鏡線建設打合

咸鏡線南北兩部の建設著手近き事は屢報の如きが淸津京城管理局より總督府に許可を申請しつゝある同線建設の實施工程も近々許可の指令ある模樣に付工務課建設係にては最近大に多忙を來し居れるが元山建設事務所長伊藤三郎氏は過般來入京幹部と商議の上歸元し更に淸津建設事務所長久門雄二氏は二十三日夜淸津鏡城間の工事實施計畫を齎らし入京今月中滯留の上歸淸直ちに起工の順序也と

◎鹽田視察者增加

朝鮮總督府に於ては工業原料製造の爲めにする天日鹽田經營を許可する方針なる由は屢〻本紙上に報道せしが右は朝鮮に於て曹達工業を起す者の其原料を製造する場合に限るとのことなるが經營者に取りても原料のまゝ內地に移入するよりも製品として輸移出する方利益多かるべき理由あるを以て斯る條件の如きは起業家に對して何等の障碍を及ぼすべきものにあらず隨つて原料鹽の不足に苦しめる內地の當業者にして過般來鹽田の視察調査の爲め來鮮するもの相踵ぐの有樣なるが當局者に就て朝鮮に於ける天日鹽田經營の果して有望なるべきや否を質すに才け當局として斷案を下すの限りにあらざるも廣梁灣及び朱安兩地の官營鹽田に於ける經驗に徵するに現在のところ百斤二十錢五厘の生産費を要するも是は民營にては大に節約し得べき經費を含めり更に鹽田は年次生産率を增加するものなれば生産費は之を反比例に遞減すべきは勿論なりとす然れば採算上不引合のことはあるまじとは考へ居れり唯諸物價騰貴の折柄千町步の鹽田を開くには少くも二百萬圓を見積らざる可からず斯くて町當り凡そ十萬斤の生産を見込みて採算上起業の價値有りや否やは一に起業家の考慮に委るの外無しと云へり

◎辭令 二十三日附左の通り辭令ありたり

任總督府判事敍高等官七等 總督府判事 東仁松
任總督府檢事敍高等官六等 川島利太郎
同 同 河原達夫
同 同 北條久淸
同 同 玉名友彥
任總督府檢事敍高等官七等 總督府司法試補 別所大
同 同 鈴一以
同 同 細井彥之助
任總督府判事敍高等官七等 總督府判事 五井節藏
任總督府檢事敍高等官八等 韓圭寧

◎朝鮮鑛業の發展 米禁輸令は杞憂=運搬と通路の改善 貴族院議員 和田維四郎氏談

二十三日夜入京したる貴族院議員和田維四郎氏を車中に訪ふ氏は語つて曰く

朝鮮の鑛業界が近年著しく發展し多額の鑛石を産出しつゝあるは國家の爲め誠に慶賀に堪へぬ所である、世には米國が禁輸令を發布した爲め是迄米國へ輸出されて居た水鉛、黑鉛、タングステン等の需要先が無くなり延ひては折角勃興しつゝある

▼朝鮮の鑛業界 も一頓挫を來すであらうと云ふ者もあるが予の觀る所では之に恐らく一種の杞憂に過ぎぬのではあるまいかと思ふ、成程從來我國から米國へは多額の水鉛やタングステンを輸出して居た、然し之は例の獨逸が大砲に多量の水鉛やタングステンを使用して居ると云ふ事が分明して以來米國でも其製法を眞似る事になり主として此方面に試驗的に使つて見たに過ぎぬので謂はゞ其輸入の如き一時的のものである、假令百步を讓つて米國が右の試驗に成功し今後も引續いて之を輸入するとしても我國の産額には自ら限りがある、之と反對に今日米國の軍器製造は

▼頗る大仕掛 なもので幾ら製造するか殆んど其底が知れない、限りある原料を限り無き物に使用する―之は到底出來ない相談で從つて又斯の如きは決して軍器製造上上乘の策ではないから水鉛乃至タングステンの輸入の如き到底永續すべき性質のものではないのである、尤も是迄輸入されて居たものが全然輸入されなくなるのだから我鑛業界並に貿易界は一時打擊を蒙るであらうが水鉛と云ひタングステンと云ひ能々米國へ輸出しなくとも我日本國內で夫々外に用途があるのだから米國の禁輸の爲めに朝鮮の鑛業界が頓挫するやうな事は決してなからうと思ふ、其麼下らぬ心配をせずとも

▼掘り出す者は ドシ〳〵掘り出したらである、次ぎに朝鮮の鑛業界は今後まだ〳〵隆昌になると思ふ、朝鮮の鑛山は層が淺い爲め折角大資本を投じて經營しても結局虻蜂取らずに終り資本を投じた丈損と云ふ事になるので、著實な資本家は手を染めぬと云ふ說もあるが穴勝ち然う許りでもない、中には地下四五百尺も掘り下げて尙ほ餘裕綽々たるものもある、尤も鑛層の厚薄は調査の上にも調査せねば判らず夫も經驗ある專門家を俟つて始めて知るべきである、無論此鑛層の調査と云ふ事は鑛業に取つて必要な事には違ひないが夫と同時に今日朝鮮の鑛業を隆昌ならしむる上に於いて最も緊要な問題は

▼道路の改良で あらうと思ふ、內地では百萬分の八位の含有量があれば、鑛石の儲質つても充分採算に合ふが朝鮮は道路が悪い爲め運搬に莫大な費用が懸り、何うしても十萬分の三以上でないと利益がない、自分の考へでは先づ此道路を改修し軍用式自動車を利用して鑛石を運搬する事にしたら從來のやうに利益の大部分を運搬に食はれるやうな事もなく夫れ丈利益も增すであらうと思ふ、朝鮮は此頃黑鉛熱が盛んになり其反對に從來盛んであつた金鑛は、非常に寂れたと云ふ話しだが、之は恐らく黑鉛の需要が多く價格が騰貴したのに引き返へ金は依然として普通の相場を保ち

▼一方之に要する 藥品が騰貴した爲め採算不引合になつた結果であらう、要するに朝鮮の鑛業は是からである

○過激派軍目算外る 砲火を浴びてアガ驛に退却

獨逸派並にブラゴエチエンスク方面より水兵の增援を得たる過激派はオロウエンナヤ驛奪還の爲め該驛を距る約一里半の地點迄到著同地點は一時非常の危險に瀕せし爲め住民はボルジヤ驛に引揚げたるも過激派軍はセミヨノフ軍の砲火を浴びてアガ驛に退却せりオロウエンナヤ驛は依然危險狀態に在り(哈爾賓電報)

○汕頭機械水雷敷設

支那地方官憲は汕頭シユガーリーフ水道に機械水雷を敷設せしに就き通航船舶は萬一を警戒す可き旨上海稅關より領事を經て同地方國際貿易業者に通牒せるを以て各貿易業者は本國政府の

抗議を要請す可く決議せりと尙水雷敷設の目的は南北抗爭の軍事行動に資するにありと(上海特電)

◎敎員試驗施行

本年に於ける小學校及び普通學校敎員試驗は來る十月八日より總督府及び各道(京畿道を除く)に於て施行せらるゝこととなりたるを以て志願者は五月十五日以後の總督府官報に揭載せる注意事項を熟覽し願書を七月十日迄に總督府に到達(府郡島は道廳經由を要せず)の日取を以て差出すべしと

◎軍事協約委員 宇垣吉田兩少將通過

日支軍事協約交涉のため三月以來北京に赴きゐたる宇垣陸軍吉田海軍兩少將山田中佐本庄少佐の一行は二十四日午後七時廿五分南大門驛著同五十分發列車にて通過歸東の旨其向に通電ありたり

◎小原長官間島視察

總督一行と別れて間島視察に赴きたる小原農商工部長官は十二日帶井發局子街に向ひ直ちに張延吉道尹を公署に訪ひ夫れより局子街領事分館に至り夜は木島領事分館主任の請待會に臨み翌十三日鍾城に出でたりと木島局子街分館主任の招待には張道尹以下支那官憲列席し彼我に取りて有益なる會合なりしと(間島)

◎託摩中佐等入京

二十八日より湖南線地方にて擧行さるゝ第十九師團將校の兵站演習參加の爲め託摩中佐增田少佐岡少佐渡邊少佐等は羅南より二十三日夜入京したり

◎中村彥氏歸東

朝鮮紡織會社顧問中村彥氏は二十四日朝南大門驛發列車にて歸東せり

◎敎育視察團入京

小學校長より成る愛媛縣敎育視察團十五名は二十四日午後九時南大門驛著入京一泊の上滿洲方面に向ふ筈

◎山口高商見學團

滿洲方面見學中なりし山口高等商業學校職員生徒一行は廿四日午後七時南大門驛著列車にて入京廿五日は南山公園朝鮮銀行東拓會社昌德宮工業專門學校中央試驗所パコダ公園景福宮商品陳列館等を視察し廿六日仁川に赴き卽日歸京廿七日朝出發歸校の豫定なり

◎龍山在鄉軍人分會

龍山在鄉軍人分會にては來る二十六日同分會事務所に於て例會を開く可しと

◎大田理事北京行無根

大田大連駐在鮮銀理事の北京行きを報ずるものあるが右は無根にて大田氏は過般川田日銀總務局長と共に濟南天津を經由大連に歸任し居れり

◎法政大學支部大會

法政大學校友會朝鮮支部にては二十五日午後五時三十分より京城俱樂部に於て支部大會を開き會務の報告支部長推薦役員の改選等を行ふ由

人事消息

▲大田黑重五郎氏(芝浦製作所重役) 二十四日朝入京
▲笠原鎌吉氏(大阪貿易商) 二十四日朝入京天眞樓へ
▲坂口盛雄氏(岐阜縣代議士) 同日入京不知火へ
▲井上哲四郎氏(光州憲兵隊二等主計) 二十三日夜入京府光館投宿▲淸水勇三氏(全州隊二等主計)同上▲有田小弼氏(咸興隊二等主計)同上▲原福治氏(平壤隊一等主計)同上▲近藤德三郎氏(羅州隊一等主計)同上▲八木澤伊之助氏(公州隊二等主計)同上▲美藤正良氏(鏡城隊二等主計)同上▲上法直勝氏(晉州隊二等主計)同上▲平田憲兵大尉(定州分隊長)二十三日入京不知火へ
▲秋月致氏(新任日本基督敎會牧師法學士) 二十四日入京南山町一丁目廿九番地に寓居

◇九州見物(三十) 磐溪生

兵兒の氣概

鹿兒島市中を步いて最も眼に著くは腰の半ばにも達せざる小倉の洋袴を著け、素足に棕梠の太緒の下駄を穿きたる書生ぼうの橫行濶步なり、隨て優柔街氣の高襟風侵入し、靑年子弟は、衣至骭袖至腕、腰間秋水鐵可斷、と謳はれたる兵兒の氣概は年と共に銷磨しつゝ有りと聞及び居たるも

◇實地を踏んで 見れば却々優柔底の騷ぎに非ず、護謨製の靴に非ざれば穿けぬ朝鮮の草[illegible]君の如きは、其の容貌を見ば[illegible]して、道を避けて通す可しと思は[illegible]るゝ程なり、彼等は、熊襲の[illegible]と鎌倉武士の血を受けたる、[illegible]なる祖先を有し、峻嚴殺伐なる[illegible]兒敎育を受けたる先祖を有し、[illegible]して男性的ならざる者、武士の[illegible]上に置けぬ者は、味噌壓[illegible]

◇胴打の極刑 に處し、[illegible]烈なる毆り合ひ、組打に依つて[illegible]敗を決する、旗奪ひ、降參日[illegible]の遊戲を有し居れり、婦女子の[illegible]を口にするを恥辱とし、四[illegible]に羅騎として氣焔一つ吐けぬ[illegible]蔑視む氣概を有し擧國を以て[illegible]叩くにも薩摩魂を忘れず、瘦[illegible]も、天下國家を論ずる氣魄を[illegible]居れり、近年常識過重の敎育[illegible]近代思想の影響とに依つて、[illegible]魂も漸く頽廢せんとし

◇過去數百年 間の鍛鍊[illegible]依つて叩き固めたる體骨も軟化せ[illegible]んとし、新舊思想と、新舊風習は[illegible]今や此の『武の國』に渦卷きつゝ[illegible]りと雖も、靑年子弟の間には時[illegible]精神の滔々として浸入し來るを[illegible]へて、薩摩魂の振興を促しつゝ有[illegible]るもの尠からずと

薩摩芋の蔓

薩摩藩は維新の大勢に乘じて長州と[illegible]と共に天下を掌握したり隨つて其[illegible]の藩民は七分の者も十分に用られ[illegible]十分の者は十二分に登用されたる[illegible]世人之を呼んで

◇薩摩芋の蔓 の引張り[illegible]言ふ、芋の蔓の粘着力の强き[illegible]く許りなるが、之が爲めに薩摩人[illegible]は政治的に得意なりき、加之に[illegible]倫力行の風上下に滿ち居たるを以[illegible]て經濟的にも得意なりき、得意[illegible]平康を生ず、平康は自覺心を銷[illegible]日本に於ける立憲政治は民心の[illegible]治的失意と不平に依つて、其の[illegible]現を促されたる者にて、失意不[illegible]平無ければ今日の如く政黨の發[illegible]を觀るに至らざりしならんか、[illegible]薩時代より

◇上下一家の 風をなし[illegible]維新となるや一躍得意の壇上に[illegible]りたる薩州人は、政治的不平の何[illegible]者なるかを知らず、立憲政治の必要を認めず、只芋の蔓に縋りつく事にのみ專心し居たりき、之を善く言へば國內一家の美風、惡く言へは政治的無自覺と解釋を下す可きか、薩派の勢力を見、その政[illegible]關係と見ば念ひ半ばに過ぎん、之を熊本に對照せば興味ある反對の現象を發見すべし

十一月一日現行
[illegible]

瑞西土産

▼鋤燒で米飯の會食

在留邦人の樂み=米は伊太利から輸入される不味い物

新歸朝者 總督府醫院小兒科長 河野醫官談=(七)

首府のベルンには目下十人ばかりの邦人が在留して居る公使館員を除けるとあとは吾々のやうな留學生で商人は一人か二人しか居ない三浦(彌五郎)公使は昨年公使館の開設と共に國旗を携へて來任した人曾ては理事官として京城理事廳に職を奉じて居たこともあるから御馴染の人も尠なくなからうが

▼頭腦も好い 利れもする其上如才のない交際官なので非常に上下の受けが好いやうだ海外に居て最も樂みなものは內地から來た音信乃至新聞雜誌を讀むことであらう夫で私は之等の郵便物が來たことが判ると折角外出しやうと思つて既に門口を踏み出して居ても又コソ〳〵と後戻りをし終日自分の部屋に閉籠つて片端から讀破したものである內地からの郵便物は

▼五十日目位 に瑞西に來くが何故か獨逸を經由すると夫よりもまだ早く著く、のみならず英國や佛蘭西を經由すると檢閲が嚴重な爲め時に沒收せられるものもあり頗る迷惑することもあるが獨逸を經由すると什麼ものでも安全に著く其處で私の友人なぞは殊更に內地への郵便物は悉く獨逸經由を選んで居たが獨逸では別に郵便物の檢閲と云ふものを遣つて居ないらしい在留邦人は時々會合して鋤燒に米の飯と云つた風な會食を試み

▼純日本趣味 を味ふ事があるが之が又樂しみなものである米の飯は私は平素でもチョイ〳〵遣つて居たが態々日本から取り寄せるやうな贅澤な眞似は出來ぬから無論外國米であるが何んでも之は主として伊太利から輸入されるのだ相なが朝鮮あたりの米を食ふことを考へると非常に高いものにつく其上品質も惡く從つて味も好くない今では迚も食へたものではないが夫でも瑞西在中は如何に吾々の望郷的欲望を滿足させたか知れない(終り)

記者曰く 河野醫官の土産話しは猶々興味あるものがあるが一箇月や二箇月は連載する丈の材料はあるが紙面の都合に依り一先づ是を以て打切りとし後は又機を見て紹介する事としやう

●和田維四郎氏の

古書道樂

既に四十萬圓許り買込んだ

二十三日夜入京した貴族院議員和田維四郎氏は舊鈔本及び古刊本の蒐集家として名高い、此程も十數年來苦心蒐集した舊鈔本、古寫經、色紙經及び繪經、古刊本及び覆刻本、字書類と云つたやうなものを陳列して學者數寄者の

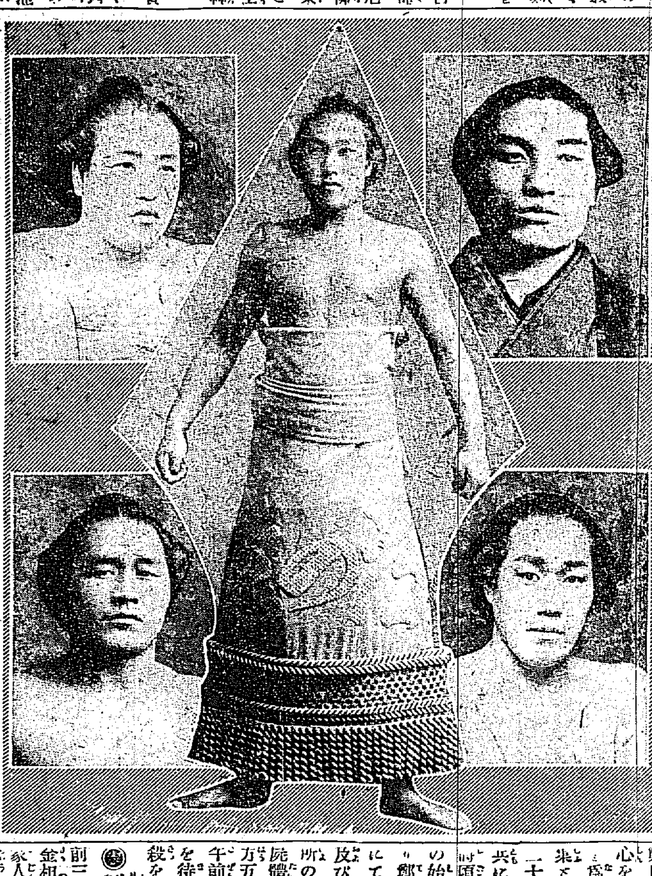
回展覽 に供したが秘藏の古寫經の中註楞伽經巻第七、大唐龍興三藏聖教序、根本說一切有部尼陁那巻第一や紫紙金字の大方廣佛華嚴經巻第六十一、過去現在因果經、扇面法華經などは珍中の珍とも云ふべく古刊本には『日本國王之印』『大宰大貳』の印章ある古韓本を始め

回元版 の景德傳燈錄など貴重なものが尠なくない、最も好く集つたのは論語で『論語年譜』發行以後發見せられた正和鈔本を始め沙彌眞性の奥書ある建武鈔本、池田新太郎少將の印ある應永鈔本等もあると云ふ事だが、和田氏は右につき語つて曰く「自分は酒も飲まず煙草、將棋、球突き等と云つたやうな道樂も遣らず格別樂みがないので何か高尚で而も害のない道樂はないかと色々考へた末此古刊本の蒐集に手を染めたのである僞て遣り出して見ると却々人知れぬ苦みもあるが夫が又此處に面白く既に今日迄に四十萬圓からの古書を買ひ込んだ古書蒐集の

回捷徑 は物故した學者や數寄者の藏書を買ひ取るのであるが時に今日迄の例は知れて居るが何處へ行つたか行方が判らぬと云つたやうな珍品が思ひ掛けなく手に入ること事ある斯る時は宛ら鬼の首でも取つたやうに愉快である古書の中には昔の人が書を蒐集したり批評したりしたものもあるが之等を見ると目前其英雄豪傑の

回謦咳 に接するやうで之亦甚だ愉快である自分が今日迄最も苦心して集めたものは論語で之丈は外に類があるまいと密かに自慢して居る一時朝鮮の古書にも手を出した事があるが高麗時代のものなら兎も角李朝時代のものは有り觸れて居るから今は遣らない近來は京の岩崎大阪の久原など云ふ

回金滿 家にも拵めて古書の蒐集などを遣らして居るが之は古書の散逸を防ぎ保存すると云ふ點から云つても好い事であらうと思つて居る」



◇新進氣鋭の優勝力士 中央旗手常ノ花右上清瀨川右下三杉磯左上福柳左下琴ケ浦

●大阪北野の

電車衝突

=交叉點にて側面に 負傷者二名

二十三日夜十時半阪神急行線と北大阪線との北野交叉點にて阪神急行車が北大阪電車の側面を衝き破壊したる大椿事あり、急行車は脫線したるも負傷僅に二名のみなりしは幸なりき(大阪特電)

●ビルマ丸遭難 北太平洋にて火災 乘員全部救助

加奈陀太平洋岸某港よりの電報に據れば大阪商船所屬貨物船ビルマ丸は北太平洋にて火災に罹りつゝありカナダ丸はビルマ丸乘員全部を救助したりと(紐育電報)

●天勝一座を觀る

藝術的な「サトラ」と

=一般向きの曲技、奇術、舞踊=

◆黄金館 出演の天勝一行の初日を見た、管絃樂の合奏は眼に美しく耳に快く就中少女連の小奇術巧みに就中鮮人少女の裴龜子は奇術よりも日本語の流暢に驚いた天右天耕の雲雀の表情は唯わけもなく面白いので前受けよく次ぎの今度の呼物餘興劇としての印度古典悲劇神燈守『サトラ』では巧みに光線を應用した神秘的の舞蹈を見せた天勝の法女サトラは凄艷であつた

天勝のサトラと渡邊の日蓮尊者

◆しかも神に仕へる清淨であるべき身の彼女から戀人カルダーサの面影を消す事が能きなかつた彼女の煩悶と苦惱とは薄暗い舞臺に溢れて居た、兎に角くあの長丁場をだれさせぬ腕前は豪いものだ、山本の國王も壽美藏張の臺詞もよく渡邊の日蓮尊者、竹內の戀人カルダーサは役々を良く演活してかなり力强い感じを與へた

◆之れが終ると文子美代子小天勝が水兵服のダンス新歸朝今村靜子のトーダンス之れは京城では初めて見るもの、天虎の釘金渡りは今度新たに加入したもので釘金の上へ寢て足で傘を自由に曲取りをしたり或は一輪車で線上を乘廻す放れ業は滿場破れる許りの大喝采滑稽奇術種明し、天耕のトランプの鮮かな使ひ分け天右のチャプリン其儘の滑稽などは大向ふを喜ばせること夥しく天勝の大小奇魔術は數十種の小奇術を夫れから夫れと目にも止まらぬほど順序よくやつてゆく內にも、殊に少女を空中へ浮き上げたり天勝自身が金輪扱けの早替りは實に鮮やかなものであつた

◆大切の平和の女神は世界の戰亂を當込みキネマ應用で見榮のする結構なもの、十數人の美人連のダンス各國兵の分列式のダンス等賑かな華かな肩の凝らないところが何よりで兎に角いつ來ても素晴らしい人氣を立てる魔術界の女王の大きな勢力に驚いた

●何の爲の自殺

遊興費が拂へぬ爲といふ

大邱元町一丁目木村時計店雇人廣島縣尾道市土堂町生れ金丸久太郎(二七)は二十一日夜主人方の現金三圓餘と銀側懷中時計二個を持出し三圓餘の遊興をなし金の代りに大邱八重垣町貸座敷大江樓に登樓し右懷中時計の中一個を置き更に同遊廓妻戀樓に赴き娼妓笑子を對敵となし二十一日朝八時頃まで遊興し仲居より

◆遊興費 を請求されし所突然久太郎は便所に入り豫て用意せる硝酸二十瓦を服し自殺を謀りたるも死に切れず苦悶せる騷ぎに早速其筋へ急報し大邱署より山本部補武警察醫出張し直ちに慈惠醫院に收容したるが生命危篤なりと而して自殺の

◆原因は 單に遊興費が拂へぬためなりと申立て其他に何事も口を噤んで語らざるも既に登樓前より劇藥を用意し來れる事より察すれば覺悟の上なる事明かにて又た同人は主人より金五十圓程の前借あり夫れを苦にしゐたる形跡ありといふ(大邱)

●發疹チブス

=並木町に發生

京城並木町百六番地府住郵便所員士屋重作(二)は二十二日腸窒扶斯として順化院に入院せしが發疹窒扶斯と確定せしが附近には先頃鐵姓女、金昌錫、加藤某の三名も同病に罹りたりと言へば多分其の傳染を受けしものならんと

●猩紅熱 京城新町十二番地別庄ちよ(一)は二十四日猩紅熱と診斷順化院へ入院加療中

●嫉妬から

妻を殺して自殺

平壤の隣接地大同郡古平面西城里二四の九李淵玉妻鄭氏(三六)は生來の不品行女にて兼てより住所不定の金鼎禹(三〇)及び同面新興里一九五金庸集と道ならぬ行爲ありしが鄭氏は金鼎禹の財産ある處より慾心を起し夫玉と共に兼二浦に出稼爲さしめ其不在中も一人の金庸集と戯れ居たり然るに亭主淵玉は二十三日歸壤し壽町七五康成基と共に一杯飲みたる後共に夜の十二時頃妻鄭氏の行方を尋ねたる處件の始末なるより嫉妬ムラ〳〵と起り鄭氏を戶外に呼び出し右隣裏手にて所持のナイフを以て左頸動脈及び右乳上部並に背中に都合三箇所の重傷を負はせて死に至らしめ屍體を側に放棄して逃走し平壤南方五六丁なる京義線第二鐵橋にて午前一時三十分の南行列車の通過を待ちて線路に飛び込みて轢死自殺を遂げたり(平壤電話)

●鮮人拳銃强盜 廿三日午前三時頃金浦郡陽村面水峴里區長金相殷方に三名の覆面鮮人侵入し家人を縛したる上拳銃及び朝鮮庖丁を以て强迫し木綿一反價格十四

●相川氏事件公判

光州日報社長相川保三氏に對する恐喝事件は過般高等法院より京城覆審法院に廻附されしが廿四日午後同法院に於て公判開廷塚原裁判長の係りにて事實審問ありたり

●札幌麥酒も値上

既報サッポロビールを除く朝日、キリン、サクラ、カブトの四麥酒は鮮滿行一箱につき一圓の値上げをなす事に決定したる旨の記事に對して大日本麥酒京城出張所長吉田勝次郎氏よりサッポロ麥酒も四麥酒會社と協定の上同樣値上げしたる旨申來れり

●柏亭畫伯來る

風景寫生のため

二科會の主將石井柏亭畫伯は鮮滿の風景寫生のため廿三日來鮮仁川松林里茂木和三郎氏宅へ當分滯在旅行日數二箇月の豫定なりと

●大獅畫伯入京 在東京の南宋畫家生田大獅氏は此程來九州漫遊中の處廿三日夜巴城館に投宿しなり氏は近く金剛山に寫生旅行

●本社樓上の

初夏の展覽會

夏物珍柄=生花盆栽

◇御注意◇ 可成多勢で、出下さい 雖か窮屈が御便利です

本社主催夏物珍柄陳列會並に生花盆栽展覽會を廿五、廿六兩日開催の事發表するや陳列出品申込陸續として

▼大盛況 裡に著々準備を完うし居れるが何分出品斷數に制限ある爲め止むなく謝絕せる向もあり混雜中に何れも獨特の意匠に依り美々しく陳列を爲しつゝあり又生花宗匠連は早くより本社に詰め騒け夫れ〳〵生花をなしつゝあるが陳列點數は意外の多數に上る豫定なり一方

▼讀者よりは『反物は井場で賣るか』とか『家族は何名迄同伴してよいか』とか『履物は履なれば其儘上れるか』とか電話でお問ひ合せの向引きも切らぬ有樣に付左記改めてお答へして置きます

一陳列した反物は細物より紹類に至る迄何品にてもお好みにより即座に賣り渡しします、値段は市價よりも一層安價です

一御家族は何名迄と云ふ制限はありません可成多勢お連れ下さい

三、草履なれば其儘上つて差支ありませんが下駄は下足番にお預け下さい

何れ陳列時間は兩日共午前九時より午後六時迄

●筑前琵琶會 水波旭子氏の主宰せる碧草會旭會支部に於ては明二十五日、土曜日午後六時より錦町倶樂部に於て第五回筑前琵琶温習會を開催するよしにて入場無料なりと

●鍋釜類は閑散

鑄物類は昨今荷動き閑散なるは季節の關係と並に製造家の製造手控へより市場品薄の爲め相場の變動なし之に伴ひ朝鮮古銑の內地移出も不振となり本品の需要期は秋冷の候にならざれば目下の製品相場は京城釜三貫物七十五圓四十錢以上七十三圓新製釜百十圓入和鍋九十五圓見當なり

●支那粟更低落

支那粟は先物安の關係上氣配益々不歩に陷り昨今手合せ行はれたるは海上物十二圓五十錢營口渡しにて此數日の間に又々四五十

錢方低落し限先而弱含みの傾向なり

●白米は持合ひ

白米は賣行き鈍狀なりと雖も原料高の氣配に此上値下げの餘地なく市況不味ながら精白一等品二十六圓三十錢を維持し鮮白又上二十五圓五十錢中二十四圓九十錢下二十四圓三十錢を持合ひあり

●白胡麻安氣配

白胡麻は近頃買人の無き爲め市況次第に沈靜し個々の望みの取引は四五十錢方附値安ければ賣人も寄せ付けず模樣なり

下關相場

▲朝鮮米も手堅し 是又別に買進む相手現はれずして市況活氣なしと雖も何分前日來の出來米少きに至らざると共に米主の強氣に依り市況手堅く輸入は白米七百叺中

▲大豆は依然軟弱 出後昆觀物三百八十四叺雄基産二百七十叺中外等三百八十四叺等の輸入ありしのみならず依然買氣の進まざるため相場は市況軟弱なるを免れざる

▲小豆は弱保合 前報の如く十八圓十錢は京義線物四百叺許り他小口の出來値は左の如し 十七圓八十錢 其他小口の出來値は左の如し

小豆三百四十五叺の輸入ありて依然買氣の進まざるため市況自から然らず然れども別に投物の賣り急ぎ物も又現はれざる傷め著したる相場の低落を見るに至らず滿洲紅小豆百袋は七丁度に手合せ行はれたり

商況

兵庫期米

二十四日前場 寄付 二節 二十五圓四十一錢 三節 二十五圓三十一錢

大阪株式特電

銘柄	二十四日後場		前場
大阪川水	五〇〇	二一〇	
東京株式	[illegible]	[illegible]	
鐘紡	[illegible]	[illegible]	
大阪商船	[illegible]	[illegible]	
日本郵船	[illegible]	[illegible]	
上新株	[illegible]	[illegible]	
島米鐵	[illegible]	[illegible]	
京株式	[illegible]	[illegible]	

大阪三品特電

二十四日前	
五月限	三一、一〇〇
六月限	三一、四五〇
七月限	三一、六〇〇
八月限	三一、二〇〇
九月限	三一、二〇〇
十月限	三一、〇〇〇

大阪期米特電

二十四日前場	限寄付	五節	六節
	二五八四	二五二三	[illegible]

下關期米特電

二十四日前場(晴) 當限 中限 先限 [illegible]

雜報

●三品漸く落付

大阪三品は二十三日仲七〇の報に當限三百三十一圓三十錢を寄付昨前場に比較する時は八限及先限先限十二圓三十錢安にて成行き何れも反し其他の限は何れも

現物は一二圓高

米棉七十錢安

綿布は三銘柄は六十五錢安

十錢安

●鐵材高報に氣丈

八幡製鐵所の入札は當業者の豫測より約一割高の價格なりしため俄然弱氣が受け市況頓に硬化せしも現物は頗る手薄の折柄手持筋は一層强氣となり……

●棒鐵類

……

●洋釘は伸惱み

洋釘は細物品薄の爲め大阪相場は

五十錢乃至一圓高を報じ……

持合

●大豆賣買稍開

大豆は氣配依然として軟弱にて買人の唱へは十三圓以上の當値なし……

實際賣買行

……

京城正米

▲京畿線大豆 ▲同 ▲朝鮮一等白米 ▲同上一等白米 ▲同進一等白米 ▲雄基大豆上場 ▲元山大豆 ▲雲川大豆

南大門の廻穀

鳥山玄米 二八〇叺永同白米 七〇叺 牛母 三七叺汝由杣 四六〇叺 雄川 二七叺水原粉米 七四〇叺 大豆 一七〇叺仁川小麥 二〇叺 金村粉 一三〇叺

仁川正米

釜山穀物(廿三日)

▲正米(保合) 出廻品日々相當ある事とて從て當市場賣り物多くして先きへ居るも商談行はれず

市場雜觀

▲昨後場は大阪前比十錢東京○錢……

仁川米豆取引所仲買人 淺野仲買店

(電話長三六七三八九)

生魚市場

▲京城日丸市場 ▲タイ二〇▲チヌ一〇▲サワラ一六▲スズキ一五▲ヒラス一五▲ヒラメ五▲サバ六▲モエビ六〇▲カナ一三▲ニベ一三▲アワビ六〇▲カナ一三▲小エビ八▲シラウチ六▲カニ一〇▲小物一〇

▲釜山水産市場(二十三日)

▲水揚高 一四千五百三十七圓四十三錢▲百十三斐▲タマ十四圓▲フカ七圓▲アメビ二十八圓▲ヒラメ八圓▲イセエビ四十圓▲ブリ十圓▲サバ四圓▲雜五圓

仁川期米

▲二十四日前場(底強し)

第一節大阪天候晴天 昨止より五錢高 ……

仁川米豆取引所仲買人 聯合買仲買店

電話二八二長二八八 電略シ又は(カ)

大商內行

市場の孤響

仁川米豆取引所

二十四日の七月限		二十三日後場 前日と比
寄付	二十一圓八十	
高値		
安値		
止メ		

北濱だより

▲株は賑氣投げ安

大阪期米

△二十四日後場 寄付 [illegible]

仁川期米

△二十四日後場 [illegible]

△先限一節二十一圓八十七錢六錢七錢六錢七錢二節八十七錢八錢七錢三節八十八錢七錢八錢九錢八錢四節九十錢一錢二錢三錢一錢

後場	
寄付	二十一圓八十七錢
止メ	二十一圓八十八
高値	二十一圓九十三
安値	二十一圓八十六錢

一等(六名)和田維四郎、牧三良、都築しゅん外人三名 二等(八十五名)……

外(以下人名略さず判讀不能)

文藝 讀者 課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名の外に住所氏名明記の事▲一等……

天氣 晴一時曇

▲五月二十五日

日出	五時十九分
日入	七時四十三分

仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎

仁川海岸町三丁目 電話長一六〇番

白米標準値

二十六圓三十錢

小賣白米

一等白米	二十七錢
二等白米	二十六錢五厘

仁川米穀取引所　二十四日の七月限

◉連絡船上陸客　二十三日午前釜山入港高麗丸一二等客

秋澤すゑの、酒村勇之助、山田たか、同幸次

一等五名　二等（二十名）三等（九十五名）

但何番何號と明記に限る　京城日報編輯局讀者文藝係

◉雄圖碎けて三星霜

◇遺愛の駱駝に遺るローマンス◇

長春西公園の傍ら滿鐵花園の一隅に一昨年の晩秋から牡牝二頭の駱駝が飼はれて居たが昨年の冬兒を生んで今では親子三頭が始終公園の廣場に姿を現はし行樂の人々子供達の對手になつて悠々と遊んで居る、處が此の駱駝にては英雄の面白き心事を現はした、非常に涙に富んだローマンスがある

大正五年の一日朔風荒ぶ蒙古の曠原に成吉斯汗の再生とまで謳はれたる巴扶扎布將軍が蒙軍四千の鐵騎を擁し清朝回復の黄龍旗を飜して北滿の天地を睥睨した時は流石の袁總統も奉天督軍の張作霖も愕然色を作して狼狽したが疾風迅雷の如き巴將軍は歩武堂々數百年の昔より軍馬駱駝などは絶對に輸送を爲し得ないとされてゐた巍峨たる興安の峻嶺を幾多の艱難と闘ひつゝ見事古諺を裏切りて六千餘頭の軍馬と重要品を積める數頭の駱駝を御して横斷し一擧奉天を衝かんと郭家店まで押寄せ來たのは炎熱灼くが如き七月の末である、そして茲で戰闘を開いたが前日

朝陽坡の一戰に

大捷して勇氣勃々たる蒙軍は再び民國兵をして顔色なからしめたが如何なる天の配劑か蒙軍の頭上に彼が唯一の目的とせる袁世凱の急死といふ一大鐵槌が下つて折角の計畫は事毎に齟齬を來たし流石の巴扶扎布も施すに術なく遂に萬斛の熱涙を呑んで八月二日郭家店を後に悄然と已が根據地に向つて退却するの餘儀なきに至つた、其の時である

噫！誰れか知らん

一箇月の後ち十月の八日には林西の露と消ね去る果敢ない己が身とも知らず深く後圖を期し居れる巴扶扎布は連れ來れる駱駝の内の牡牝二頭を記念として長春に寄附した、即ち前記西公園の駱駝が其れである始め大連市に千金の費用を投じて輸送し寄附を申し出たが同市では飼料に多大の費用を要するとて受理しなかつたので巴將軍も非常に遺憾に感じ

長春なれば蒙古に

接近し記念物を遺すに最も適當なる土地なればとて改めて長春に之れが寄贈方を申出でたため滿鐵にても將軍の意中を察し快よく之れを收めた次第であるが義氣に富める日本人が目下東露に於て帝政復活の爲め活躍せるセミヨノフ大尉の偉圖を稱揚して止まない今日遠く外蒙の彼方大庫倫に蹶起し獨立軍を編成して滿朝復辟を絶叫し黄龍旗を押し立て丶興安の天嶮を脚下に踏み遥々其の大部隊を率ゐて北滿の一角に殺到し來りしも

壯志と違ひ退いて

林西の一戰に千歳の恨を遺して地下に眠れる巴扶扎布將軍に對し西公園にある駱駝を見る毎に永く我々にとつては忘るべからざる憐れなる思ひ出の一つであると同時に幽冥處を隔てし巴將軍の靈魂も己が遺留の駱駝が斯く迄安樂に成育しつゝあるを見て定めて滿足の笑を洩して居るであらうと思ふ。

寫眞下段にある駱駝は西公園にて長局員の撮影せしもの也（上）の向つて右は牡、中央兒、右牝なり（下）は長局員の乘れる兒駱駝に小學生が戯れ居る處なり因に此駱駝は納家にて一頭に付一週間毎に高粱五合を與へ水を飲まし置けば其間は野草のみにて少しも水を要せず又如何なる嚴寒酷暑にても平氣に廣場に出て遊び決して屋内に屏息し居るが如き事なしと云ふ（長春）

◉朝鮮の鯖が米國で歡迎さる

朝鮮水産組合　久納技師談

朝鮮南沿岸の鯖漁期は往時春期は四月下旬より六月上旬、秋期は九月中旬より十二月上旬として一般出漁を爲し居たりし爲嚴冬期間は殆んど出漁者無く爲めに漁價も最も高値を示し居たり、然るに此の期間に於て不正漁業者は此の價格の昂騰期に際しダイナマイト其の他の方法を以て捕獲を爲して供給しつゝありしに依り漸次是等の期間に於ても沿岸土著の漁業者の出漁を見るに至り近時にては殆んど周年に於て三四箇月の延長を見るに至れり然れ共此の延長期間は群游するもの甚だ稀なるを以て僅かに土著の漁夫が出漁するに過ぎざれども本年一二月頃は群鯖多く二月二十三日の如きは知世浦に於て一萬以上を捕獲し得たる漁船もありしといふ、尚四月下旬浦項沖に於て二十萬尾を得たる事もあり一般に本年は豐漁の見込なるも何分天候惡しき爲め完全の出漁不可能にして漁價は依然高値を保維しつゝある現狀なり、昨年に於ける鯖網（市著、總）は約七十組位なりしが漸次増加し一會社にて十五組の使用許可を受けるの好況にて昨年に比し約五割は增加すべき見込なり、而して鯖漁業の狀態を見るに朝鮮海にて捕獲したる鯖は殆んど内地へ移出され加工の上米國其他へ輸出されつゝあれば朝鮮に於ける漁價は如何なる大漁あるもさしたる變動は無かる可く思はる一昨年一尾二錢位に比し二十五六錢の突飛なる値を示したるも現在は十錢より十五錢を往來しつゝあり海に無數の鯖あり外國へ販路を有する同業の將來は最も囑目すべきものなれば組合にても研究と奬勵とに努力しつゝあり（釜山）

🌸高女第十回同窓會

京城高等女學校では十週年紀念學校會の廿三日午後一時から若葉の南山公園下見島氏の庭園で同校第十回同窓會を催した袖を渡る風に袂をふかせながら若いお母さんや新らしい卒業生達が約三百名臨して成田校長の開會の辭に參者からの

◇**祝電** 祝辭朗讀があり筑前琵琶二面合奏等の餘興が終つて庭内の若葉の下や藤棚の下に設けられた模擬店を開いた渡された食券にはお茶入の文句入『おでんのよこ食ゐかしくもいたとかうでは有りませんか』なぞと書いた

◇**皮肉** なのがあつたり『あまり紹待に出來ましたからおしろこのおかはり頂戴』と云ふ様な者もあつておそばおすし甘酒おこうのものお茶やまのお土産お菓子など赤いたすきの姉さん達の手から皆相當に賣れて居た

◇**來會** 者は二三回卒業の子供を連れた若いお母様やお嫁様に行つたばつかりの若い奥様も見ねて其れに此の春卒業したばつかりの娘さん達でそれが皆學校時代の若い心持になつて彼處此處に寄り合うた事さてうれしいやら

◇**樂し** いやらで賑やかな事此の上もなく當時の思出話しやらで興に乘つて散會したのは六時過であつた（寫眞は上右、甘酒店の客（下）番の物を受取る所）

◉石炭が安くなるだらう

◇一噸に付きて七八圓◇

◇愈々安くする成案がつく◇

此の頃朝鮮では石炭が高いので隨分困つて居る模樣である、それは船腹不足と滯貨の爲めでもあり又一面炭の値が昂つたのでもあるが要は運輸機關の思ふ樣に整備して居ない爲であるらしい乃で滿鐵と鮮鐵とは何とかして安價な石炭を供給して在鮮人の便利を計りたいと云ふので種々研究中であつたが近來になつて漸く成案が出來たので遠からず安値い石炭を供給する事となるらしい、何でも當今は南鮮方面では九州炭で三十四五圓、撫順炭では所によつて相違はあるが、十圓以上もするらしいが今回の成案から見ると一噸七八圓は安値く供給が出來るさうである、何れ發表されたら委細報道する事としやう（安東縣）

◉腐り懸らんとする滿大豆の滯貨

◇積取り船不足のため◇

滿鐵埠頭混合保管倉庫充溢と積取船不足の爲め大連各油房にて製造する豆粕の野積保管の可否は極めて急迫せる問題として輸出業者及び油房側との間に講究せられつゝあるが野積保管問題決定と否とに拘らず事實に於ては既に多數の豆粕は各油房の構内其他に野積となり既に其の品質にも多少の腐敗を生じたるものと混入するに至れりと而も今後漸く多雨の期節至らんとするに野積の可否は勿論問題ならずと雖も保管の場所なしとすれば止むを得ず相當の設備の下に野積保管の方法を取るに至るべく其の結果は豆粕の品質を損じ油房業者及び輸出業者の爲めに損失を招くが如き事なしとせず一方鈴木、臼井等の手にて買占的に買漁りたる夥多の豆粕も亦積取船不足の爲め混合倉庫内に堆積の儘長時日を

長春西公園の駱駝（巴將軍寄附）

經過し其の品質既に幾多の腐損を生じたりとの事なり而して一方内地の豆粕輸入商人等は船腹不足品薄を楯として漸次相場を引上げ手持品を一掃したる上、大連に於ける持あぐみ及び保管困難の爲め弱氣を生じたる豆粕の買取りを爲す計畫なりと（大連）

◉鹽は倍額の騰貴

平南大正六年四月中の官鹽値段は特等五十錢一等四十八錢、二等四十三錢なりしが本年五月特等九十七錢一等九十五錢約二倍に昇騰し二等の九十錢は二倍以上に超過せり

◉勇敢なる店員　日本刀を揮ひ

一人にて九名の賊を走らす

長春附屬地東斜街内田藥店へ去る十六日夜九名より成る馬賊闖入りしを同店員松本某なるもの及渡り二尺の日本刀を仕込みたる仕込杖を拔きて賊徒九名の中に突入し内一名の腹部を突き刺したる勢ひに賊徒は辟易して逃走したるが松本の爲めに突かれたる賊は其の刀を奪はんとし却て右手の指五本とも深く斬られ痛手に堪へず本社長春支局裏まで逃げ來りしも重傷の爲め遂に死亡したり右に就き從來馬賊の防禦には拳銃を唯一の武器と見做しゐたるが此の事件ありて以來俄かに日本刀の有難味が知れ渡り近頃日本刀を各自に購ふこと長春に流行しつゝあり（長春）

◉仕舞に軌條まで

◇盗まれるやも知れず◇

此の一週間内に於て吉長鐵道の四平街保線區内に三回ほど鐵路高低表標（四尺の軌條を二尺丈け地中に埋め二尺を地上に露出し上に標の鐵板を附せしもの）を何者にか竊取され右は一本二十五元位に賣れる由にて昨今鐵物の騰貴につれ支那人鼠賊の爲す仕業なるべきが此の分にて彼等の爲すがまゝに放任し置かば仕舞には軌條迄も引外すやも知れずと四平街警務署にて目下嚴重に警戒中（四平街）

◉馬賊の跳梁甚く人質四十餘名

採木公司分局危ふからんとす

◇本年鴨綠江上流の流筏多からん◇

最近鴨綠江上流地方を視察し歸れるものゝ言によれば近來上流地方に於ける馬賊の跳梁は實に甚だしく數十名より百名内外多きは二百名位を以て隊をなし強盗掠奪を行ひ既に臨江縣内の如きは人質として拉し去られたるもの最近に於て四十數名の多きに達し人心恟々たる態なるのみならず時々對岸朝鮮方面をも襲ひ行旅の不安は勿論採木公司分局の如きも彼等賊徒の大に囑目し居る現狀なれば危險云ふ許りなく爲めに與地森林地帶の調査などには頗る困難を極め居るものゝ如し斯くの如きを以て討伐隊は漸次侵入し來り居れりと雖も地域極めて廣大なると地理に通ぜざるとにより豫期の行動をなすに困難なるのみならず次第に繁茂の期を差し控へ居れる事とて或は支那官憲が聲明したるが如き討伐成績を收め得るや否やは疑問なるべしと因に本年度の材木狀態は稍々良好なるものゝ如ければ相應の降雨を見ば流筏は尠少ならざるものあるべく豫想されつゝあり殊に八道溝乃至十三道溝附近は既に編筏を急ぎつゝありと（安東縣）

◎値上廣告

一、内地人　二圓二十錢

一、鮮人　一圓五十錢

諸物價騰貴に付五月十八日より上記の通り工賃値上仕候也

大正七年五月十八日

京龍錺業組合

内科　眼科　小兒科

京城黄金町三丁目赤門通（電車停留所前）

本田醫院　院長　本田建義

附屬　京城肛門病痔疾療院

電話二四四二番　振替京城三三二八番

入院隨意　肛門病の話（附痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す）

コーヒ　コーヒ豆　大販賣

神戸市元町通壹丁目二八　饗庭榮次郎　電話二四八二番

大連市山縣通九十九番地　饗庭洋行　電話七四七番

資本金參百萬圓

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

明治三十六年八月設立

株式會社　漢城銀行

京城府南大門通壹丁目十四番地

長　男爵　李允用

專務取締役　韓相龍

支配人　石鎭衡

電話　二六四六番　二三九番　振替京城二一八六二番

支店　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山

出張所　鍾路、東幕

消化健胃　ゴルフ

定價　貳拾五錢　五拾錢　壹圓廿錢

各地藥舗にあり

ゴルフはタカヂアスターゼを主藥として之に人間生存上最も有効なる滋養剤を調合して調製せし美味の胃腸藥にして、胃腸病一切、消化不良、虛弱の人に最も卓効あり

東京室町　泰昌製藥株式會社

各位益々御繁榮奉大賀候

陳者弊行從來より工事部を置き主任宮川和一氏の名義を以て諸官衙各位の御引立に預り建築請負罷在候處今般都合に依り合意上弊行工事部なる名義を去月末より廢止し弊行は材木商を專業とし爾今工事請負に對しては取引上一切何等の關係無之候

前述の通り今後弊行は專心材木業に勉勵仕候に付一層の御愛顧の程懇願旁謹告候也

大正七年五月

京城府岡崎町

三幸洋行　主　山名松太郎

奥田直毅儀病氣の處五月廿二日高知市新町田淵自宅に於て死去仕候に付此段謹告仕候也

親戚　松村孫平

田岡壽

友人　松尾茂吉

總代　藤村忠助

質（大口歡迎）

黄金町長橋町入口　電話二九一六番

田村質店

商品擔保便利取扱

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです

京城本町二丁目角

古城賛化堂

電話一〇二番　振替七三七番

西洋洗濯　クリーニング　洋服丸染

京城南山町三ノ二九（電話三八七番）

坂洗濯店

衛生坂式クリニングは經濟

一洋服及毛織物ハ是非クリニングガ必要デス

一蒸氣ヲ使用スルガ故ニ惡臭ヲ去リ地質ヲ强固ニス

一蒸氣力ニ依リテ色澤ヲ鮮明ニシ毫モ地質ヲ損セズ外觀上ノ體裁ヲ保留ス

一洋服一般丸染ハクリニング式ヲ應用シ染直シ物トハ自ヅ分ケ難キ迄ニ調製致マス

一毛織物ノ騰貴ノ今日染替染直シ等ハ廢物利用且ツ廉價ナル工料ヲ以テ御用命ニ應シ可申候

赤門印

人參規那鐵葡萄酒

朝夕の一杯は身体を肥し疲勞を醫す

◉身體貧血せる人◉生來虚弱なる人◉食慾缺乏せる人◉精力減退の人◉産後病後に衰弱せる人◉萎黄病の如き血液疾患の人に好適の飲料なり

到る處の信用ある洋酒食料罐詰店にあり

發賣元　大阪　小西商店洋酒部

京城西小門町二一番地

田中丸病院

院長　醫學士　田中丸治平

副院長　醫師　上野和夫

【入院隨意】

普通病室隔離病室の設備あり

電話八八五番

塚原卜傳

第八十五席 悟道軒圓玉口演

白妙のお美津の方が興正寺からの戻り道、西洞院松原筋にて十六七歳ばかりの少女が癪に閉ぢられ、途に倒れて苦しんで居るのを見て可哀相に思ひましたから輿物を留め侍女を呼んで藥を與へ介抱させると漸々氣が付いたか目を開いて起上りました、身扮装は粗末で初めて京へ上つたと見えて旅の支度でございますが色白く眼涼しく高位の姫君といつても恥かしからぬ標緻、爪はづれも至つて優しく、兩手を仕へまして娘『何處のお方かは存じませんがお手厚い御介抱を頂きまして助かりました有難う存じます』と慇懃にお辭儀をする其横顔を引戸の蔭から見て居りました白妙、蟲のしらせか懐かしく何となしに肉身の妹のやうな氣がして此儘見捨て丶行きたくない白『早瀬や其娘を連れて歸つて少し尋ねたい事がある、日のある中は人目もある其方の宿へ一旦連れて行つて夜になつたら人知れぬやうに妾の手許まで連れて來ては吳れまいか 早『宜しうございます、私の宿へ連れて參りまして四ッ過になりましたら御殿へ伴ひませう』と承知をして早瀬は右の娘に何か言含め自分の宿へ連れて行つた、白妙は軈て立戻り將軍へ御禮を述べて自分の居間へ入りましたが、其夜は將軍相變らず御酒宴にて五ッ頃まで盃を召させられ四ッの漏刻を合圖に御表へ御歸りになる、四ッ半頃になつて早瀬が先刻の少女を連れて參りました、少女は初めて室町御殿へ足を入れたので只其美くしさに驚きの目を見張り、怖々與へ伴なはれて來た、白妙近く呼寄せて 白『最前から其女の素性を聞きたく待兼ねて居りました、皆の者は少し遠慮するやうに……侍『ハイ』と一同退る 白『さアもう外に人はなし包まず素性を聞せて下さい突然に嚥驚くでせうが別に深い仔細もない只何んとなく其女が他人でないやうに思はれてなりませぬ隱りがなければ打明けて下さい』と問かれて 娘『イエ〳〵妾は大和から初めて都へ上りました田舍の女、お話し申すやうな素性はございませぬ』と眞赤になつて羞らふ樣子、白妙は 白『さう隱さずと宜いではございませんか、若い娘が供も連れず只一人で京へ上るには何か仔細がある事、御兩親は國においでか、それとも此世にお出でないか何にもせよ袖摺り合ふも他生の縁とかいふ譬諭の通り、其方が癪に苦しんで居る所へ通り懸つたのも何かの御縁、決して素性を聞いて他へ洩らすやうなことはせぬ、何うか打明けて聞かして下さい』と白妙が何んと思つたか頻りに賴む、娘も其親切に絆されまして泪を浮べ 娘『御親切に先程も御介抱下さいました貴女樣の御恩、其御言葉でございますから妾の素性を申上げますが、妾は只今では父も母もない本當の孤兒でございます 白『マア其れは氣の毒な身の上、御同胞は……娘『僅一人姉がございましたさうですが、生れるとすぐ父が亡なりました爲めに、近江の方の人手に渡しまして、母は大和の實家へ歸り間もなく生みましたのは妾でございます、固より顔も見た事はなし、其後は何處に暮らしてお在やらさつぱり便りも聞きませんが逢先頃京から戻つた人の話しに、九條の廓にお前に瓜二つの遊女が居たが年も一つか二つ違ひ若しやお前の姉かも知れぬと親切に敎へて吳れましたのを力にして、母は亡なつてまだ三月ばかりでございますが外に頼りのない妾、若し其れが姉樣であつたら何樣にか嬉しからうと別段目當もございませんが、二三日前に京へ上つて參りましたものでございます』

五月廿六日 九星
舊四月十七日 癸酉
本命九紫 南 定 友引
九紫 御上手過て納りのつかぬ事有日新事[illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible]

演藝案内

京城本町 壽館 電話一〇五〇
▲五月二十五日より[illegible]
浪花節應用身振芝居 市川小梅京一座開演
前狂言 神崎與五郎生立
切狂言 辨天小僧吉之助召取り
配役 吉之助、神崎與左衛門(實之助)、神崎與五郎(中村)、代官(坂田)、[illegible]

明治町二丁目 浪花館 電話二六〇番
▲五月二十五日より開演
○東都浪界の麟兒 吉川辰若
○東都浪界青年花形 中川家右衛門
(關西浪界中堅) 千蔵家九州男
(合同競演會)
▲前座員數名出演 ▲義士傳(若虎) ▲幡随院長兵衛(芙蓉) ▲金猊土産(辰右衛門) ▲乃木將軍、寛永三馬術(九州男) ▲村上喜劍

米國ユニヴァーサル會社特約手代理店 已川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館 電話(洛上二五九七番)(階下二一〇五番)
當る五月二十五日より公開
▲實寫 ユニヴァーサル週報 第五十一號
▲滑稽活劇 天晴れ村長
▲文藝寫眞と怪談、活劇
米國ユニヴァーサル社 青島映畫
◎大活劇『山賊と貴婦人』全三卷
◎狐兒物語『一滴の水』全五卷 名女優エラホール嬢出演 [illegible]

櫻井町 大正館 電話八七三
當る二十四日より 寫眞提供 [illegible]
東京ユニヴァーサル會社新作
◎怪劇『本郷小町』全四卷 [illegible]
△滑稽『デブ君の渦燒』全二卷
○泰西活劇『焰の周』五千呎
◎新派悲活劇『蚊やり火』全四卷 [illegible]
△正劇『揚卷助六』全三卷 [illegible]

黄金町 出張 京城 壽座 電話五七八番
當る五月二十四日より提供 [illegible]
▲舊劇『鬼小島彌太郎』
▲連續『ミラの秘密』全三十一卷 [illegible]
▲新劇『[illegible]』全三卷 [illegible]

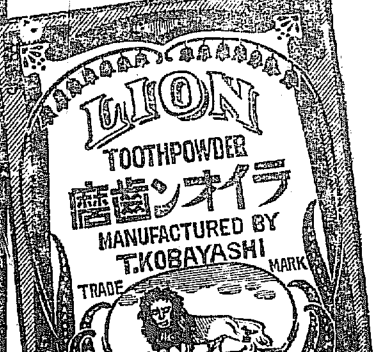
山下五十雄、村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社代理部

六月一日より五日間
夏衣大賣出
五月二十五日より 見切反物ツリ切澤山取揃申候
新柄浴衣地夏向帶側陳列會
京城本町
三中井呉服店
電話三七番
所在地 釜山◎大邱◎元山◎晋州

電話二二七七番 京城(壽座隣)
山田耳鼻咽喉科
福田齒科
醫院

堅牢無比 パイン學生號 萬年筆發賣

特價弐圓八十錢也
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部



体裁の美は、内容の優秀と相待つて
鬼に金棒の稱ある
ライオン歯磨中袋入!

▲齒科百話(一)
[illegible]
ライオン齒磨 ライオン百話 本舗 小林富次郎
(536-7)

衛生口錠 宮内省御用品 まが玉形容器
カオール
□惡氣を豫防し
□疲勞を回復し
□精神爽快に
□元氣旺盛に
□音聲をよくす
本舗 東京 安藤井筒堂
關西代理店 藤森源之助

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 馬山線 京釜連絡 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南)
[illegible]

▲今二十四日後場 ▲前限寄付 ▲中限寄付 ▲先限寄付 二十五圓九十五錢 二十五圓三十五錢
▲今二十四日後場 大阪前止め二十[illegible]圓二十二錢後寄 先限二十一圓八十九錢八錢六錢八錢九錢八錢 [illegible]

京城日報

二十五日朝刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金[illegible] ▲三ヶ月[illegible]
廣告料金 ▲五號七字詰一行[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話[illegible]

京城日報
形勢如何

此度の佛蘭西白耳義戰線の戰闘は、去三月二十一日を以て始り、今や既に滿六箇月を閲したれども未だ其局を結ばず、或は近々更に獨逸軍の大攻勢を見むとするを傳ふるものあり、洵に是れ開戰以來の最大爭闘なり、否な最大爭闘なりと雖も、遂に何等の結果をも齎らし來らずして已むべく、これが爲めに最も失望するものは獨逸たるや論なきなり。

獨逸は最早戰爭の持續に苦しむと甚だしく、速かに勝敗を決し以て平和を回復せむとを願ふ、彼蓋し此春季の一戰を以て大局を結ばむと欲したらむ、今早春ヒンデンブルグが四月四日を以て巴里に入るべきとを倣語したるが如きは、畢竟其意圖の一端を漏すものなり然れども其の露西亞、羅馬尼戰線の兵を西部に集中し、英佛軍連接點を窺うて急攻力進したるに拘はらず、アミアン前面に於て阻止せられて復た進む能はず、轉じてフランドルスを衝きたれども、亦其目的を達し得ず、南北に轉戰し悉く不結果に終りたり、近報獨軍過去の損害を補塡するに力めて今や既に其の一半を充實し得たりと傳ふるより推すときは、或は又々何れかに向て攻撃を開始する考なるべしと雖も、今や英佛軍の統一全く成り、各方面の兵員手足相救ふの實あり、獨軍如何に藻搔くとも遂に失敗に終るべきや言を待たざるなり。

若し吾人をして其欲する所を言はしめば、英佛軍の此機會に乘じて敵軍を粉碎することを願はざるを得ず、今や敵は楔狀を成して突進し居るも、英佛軍の連接を突破する能はざるのみならず、兩軍に加ふるところの壓迫は悉く失敗に歸したり、寧も是れ自ら進みて死地に投ずるものならずや、英佛軍は一部一方面に於ては或は其兵員の敵に若かざるものありたらむ、然れども大局より觀るときは英佛軍は獨軍に比して遙かに優勢なり特に今日は佛白戰線戰闘開始以來既に六旬を閲みし、英佛軍隊の統一は完全なりと云ふにあらずや、敵にして其の兵力を集中し其の損害を補塡するの時間ありとせば味方も亦固より之に應ずるに於て綽々として餘裕あるべく、敵の力の盡くる時は則ち味方の其力を致すべきの時ならずや。

或は最近獨墺の講和運動甚だ熾烈なるのみならず、協商國側にも平和回復に就き考慮するものなきにあらずして、佛白戰線の爭闘持續は今方に過ぎ去り、之に續いで來る者は則ち講和運動時代ならざるべからずと爲す、或は然る情形なしとせざれども、講和は戰に勝ちて後に云ふべき所の事なり、今日のところにては只獨逸の攻勢を取りたるとが彼に取りて失敗なりと云ふに過ぎずして、英佛軍未だ赫々の勝利ありと云ふ能はず、獨逸は固より速かに和を講ずるとを欲するものなるべし、然れども獨逸の兵力を打破するに先ちて平和回復を説くは全く無意味ならざるべからず。

獨逸の產業並に商權擴張策(五)

賀田直治

獨逸勃興の動機及び歷史(五)

ウイルヘルム二世(一八八四年三十歲にて即位)の世界政策、即ち汎獨政策の確立及び實行

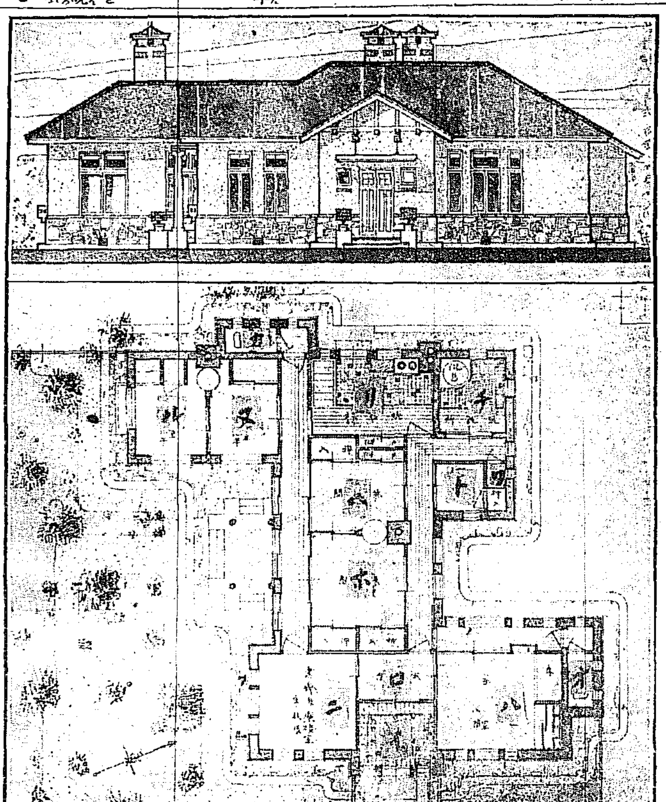
●植民政策の創立●

ビスマークは當初獨逸帝國の統一並に内政及び軍備の擴張に重きを置き、植民地に着眼せるは其の晩年なりしを以て、此の企圖せる頃は地球上植民地の餘す處は極めて不便又は不健康地のみなりしを、現カイザーは植民地政策に全力を傾倒するの方針を以て獨逸植民協會を創設し、北獨逸ロイド會社の船舶に補助し、外務省内に植民局を設け、移民を送り、自國工業に對する外國市場を求め、又は資金を放下すべき事業を求むる等の行動に着手し西南阿弗利加より始め東阿弗利加、西阿弗利加(カメルン)に及ぼし次に太平洋に於てカイゼルウイルヘルム二州、ビスマーク群島サマア群島の一部マーシャルカロリンマリアナ群島ニエーギニアの一部等の拓地植民に盡し越ゆて千八百九十七年には膠州灣に於ける青島租借地並に之が東洋の根據經始せる剰餘地にして統一し難く利益を收め難きを以て獨逸は自國に於ける工業の發達に依りて通商地を國外に發展し、組織的に市場を求むるの方針を採り、訓練せる陸軍と鐵道網とに依り歐洲に覇たるべき畫策を爲し、更にキール運河を開鑿し(一八九五年六月竣工工費八千萬圓)兩度に亘り海軍の大々的擴張を爲し千九百十七年を完成期とし爲に九億餘萬圓を支出するの豫算に依り要は最强の海軍國と戰うて其制權を握るに足るべき程度に達するを目標とするの大計畫に依り海陸軍備併行して世界政策を遂行するの具と爲し、私地的[illegible]行ひ更に土耳其小亞細亞方[illegible]活動して以て植民政策に[illegible]義を普及するに至りたり以上[illegible]の植民地經營の要項なるが結局獨逸の植民地は英、佛、衛、蘭、西等の第十七世紀以來占領[illegible]かに汎獨逸政策即ち埃及及び巴爾幹半島を服從して小亞細亞に出で、バクダッド鐵道を敷設し、漢堡、波斯灣を貫通せんとするもの第一の目的にして、更に此根據地に依り若くは回々教徒を利用し、中央亞細亞、印度を衝き、北の方露西亞を我が勢力下として、工業及び食糧原料の供給地たるワルシャワ、ウクライナ等を占領し、露西亞を利用して東漸を圖り、結局は指す所の英國の植民地を動搖せしめ中立國を侵略して世界の覇を爭はんとするもの即ち是なり。此の勢に徴すれば實に米國、支那、日本共に看過すべからざる形勢に在りと信ず。

今や歐洲の天地に展開せられたる世界戰亂に於て、獨逸は三年有餘に亘り屈する所なく、比較的食料の缺乏をも忍ぐることなく、既に露西亞及び羅馬尼を降服せしめ、著々汎獨逸政策の目的を遂行しつゝあり。其の隣接にして獨逸の垂涎措く能はざる瑞西、和蘭、瑞典等中立國の運命も亦岌々乎として危殆に在るものと謂ふべし。故に聯合軍が此の際徹底的に戰爭を持續して、獨逸を敗り得るに非ざれば、一應の講和は更に再度の戰爭となり、結局獨逸の意の如く世界政策を實行するの時機なしとせず。中央亞細亞は勿論極東並に南北亞米利加の侵略も亦强ち其の虞なしとせず。實に恐るべきは獨逸の汎獨逸政策、即ち世界政策なりと謂ふべし。

(京)懸賞募集 防寒建築選外佳作案

大連 内田鉎司氏案



略說明

總建坪四十八坪二合六勺外に物置三坪各室の配置としては居間茶の間老人室小供室等家族常住用諸室を重じ内部に於て一部の仕切壁を除く外全部煉瓦壁(一枚半又は一枚)とし外廻り窓は總て二重とし各室床及び天井は二重板張とし加ふるに床上はフルエトとし天井中上部のものは正六分板とし上に乾燥せる土を置く特に床、押入等に於ける床の構造を主視し從來日本建家屋類燒は十中八九軒先よりするものなるを以て之れに鑑み防火設備として防寒用を兼ね特に軒先を全部不燃質物を以てする事に意を用ひたり

(イ)玄關(ロ)取次の間(ハ)客室(ニ)書齋兼應接室(ホ)居間(ヘ)茶の間(ト)女中室(チ)浴室(リ)臺所(ヌ)小兒室(ル)老人室(ヲ)(ワ)(カ)便所

他山の石

槐翁

頃者、專門學校の入學試驗に就て不平の聲を聞いた。其の要に因ると「朝鮮教育令の現行法規は、官立三專門學校の入學を、高等普通學校及び中學校の卒業生は、無試驗入學を許し、他學校の卒業生は、之と同等以上の學力あるものも、試驗の上にあらざれば、入學を許さぬることになつて居る、此の現行法規の制定當時は、高普、中學兩校の卒業生を、成るべく多數收容せんとする方針と、右兩校の卒業生を措いては、專門學校入學の資格あるものなしと認められたのであつた。

○今日に於ては、別に奬勵をせなくても、專門學校に入學せんとするものが、頗る多く、高普、中學兩校の卒業生にして、專門學校に入學せんとするものも、常に定數を超過せんとするの盛況にて、他校生の如きは、入學試驗さへも、受くる能はざるのみならず、兩校卒業生に、全部無試驗入學を許すことは、動もすれば、其の超過人員の處置に窮するの奇現象を呈して居る。

○而して兩校以外の卒業生は、その成績劣等であるかと云ふに、現今の專門學校在學中のもので、兩校出身の生徒よりも、遙かに優秀なものさへあるのを見れば、兩校以外の卒業生の成績劣等と云ふことは、成り立たぬことになる。然かも現今の如く、他校卒業生は、試驗を經ざれば、入學を許さぬとすれば、彼等の專門學校入學志望は遂に絕望に歸せねばならぬ。その結果は、彼等をして自暴自棄に陷らしむるに至るべく、斯くては、教育奬勵の趣旨にも、違背することゝなる。

○要するに、現行法規の無試驗入學制度を改正して、高普、中學兩校の卒業生も、他の一般學校の卒業生と共に、嚴格なる入學試驗を經て、入學を許すことになれば、彼此厚薄の嘆なきのみならず、學生をして大に奮發努力せしむることゝなり、一視同仁の御趣旨にも適ひ、專門學校に於ては、眞に優良なる生徒を得るに至るであらう」と云ふのである。

○凡そ不平は、多くの場合に於て謂はるゝ方よりも、謂ふ方に缺點を見出すことが、多いのであるから、吾人は、輕々に此の不平者流の言を信聽することは出來ぬ、然しながら、その不平の起る處には適用何等かの缺陷が、多少にてもあるものとして、之を講究することも、決して忘れてはならぬ、而かもその不平の聲が、或は革新の聲を擧ぐる動機ともならば、所謂禍も轉じて福となすの類であつて他山の石も、以て磨くべきではあるまいか。

雜誌抄

◇倫敦から東京まで三時間で來られる(少年)

獨逸のツエッペリン飛行船が西伯利亞から東京へ來ることは決して困難ではありません、今日では六十噸の重量、六千米突以上の高度を自由に飛行し得ますから若し重荷を輕減すれば、伯林から東京まで途中二三回下降して[illegible]北京、四國、九州と到る處に着陸しつゝ悠々乘つて行ける能力を持つて居る 東京倫敦間でも一晝三時間で往ける(堀田理學博士)

婦人畫報臨時增刊
皇族畫報

御眞影
◎天皇陛下
◎皇后陛下
◎皇太子裕仁親王殿下
◎淳宮雍仁親王殿下
◎高松宮宣仁親王殿下
◎澄宮崇仁親王殿下
◎故有栖川宮 威仁親王殿下同妃慰子殿下
◎伏見宮 貞愛親王殿下同妃利子女王殿下
◎伏見宮 博恭王殿下、同妃經子殿下、三王子、三王女殿下
◎華頂宮 博忠王殿下
◎山階宮 武彦王殿下大妃常子殿下、四王子、一王女殿下
◎賀陽宮 恒憲王殿下同妃
◎久邇宮 邦彦王殿下同妃俔子殿下、三王子、三王女殿下
◎久邇宮 多嘉王殿下同妃靜子殿下、一王子、一王女殿下
◎梨本宮 守正王殿下同妃伊都子殿下、二王女殿下
◎朝香宮 鳩彦王殿下同妃允子内親王殿下、二王子、一王女殿下
◎東久邇宮 稔彦王殿下同妃聰子内親王殿下、一王子殿下
◎北白川宮 成久王殿下同妃房子内親王殿下、一王子、二王女殿下
◎竹田宮 恒久王殿下同妃昌子内親王殿下、一王子、一王女殿下
◎閑院宮 載仁親王殿下同妃智惠子殿下、一王子、二王女殿下
◎東伏見宮 依仁親王殿下同妃周子殿下
◎昌德宮 李王殿下同妃殿下 王世子垠殿下
◎德壽宮 李太王殿下
◎李堈公 殿下、同妃殿下 李鍝公殿下

恭しく惟みるに允文允武なる天皇陛下には、夙に東洋の平和を永遠に確保せんことを念とせさせたまひ、金枝玉葉にわたらせらるゝ各宮殿下また畏くも御身を軍籍におかせたまふ、われ等國民たるもの、いかでかこの聖慮を虔みて盡忠報國の誠を竭し奉らずして止むべきや、弊社は、謹みて聖壽の無疆を祈り奉り竹の園生のいや榮えに榮えたまふ、大正の聖代を記念し奉らんがため兩陛下の御眞影を奉戴し、各皇族殿下御七十三方の最近御眞影御貸下げを請ひ奉り、御英姿、高貴なる御面影を一に集めまゐらせ、添ふるに兩陛下並に皇太子殿下、皇子殿下御日常の御模樣を初め各宮家の御事どもを謹記し奉り、こゝに婦人畫報の臨時增刊として本書を發刊するの光榮を擔ひぬ。あはれ至誠至忠なる七千萬國民諸君よ、願くは、この好機を逸せず、速に一部を藏して、朝に、夕に、日月列星のごとく輝かせたまふ尊き御面影を拜し、この不朽の寶典を子々孫々に傳へたまはんことを。

附錄 ◎兩陛下御宸筆 ◎皇室及び皇族御略系譜

定價六拾錢 郵稅八錢
皇族畫報 婦人畫報 婦人界 少女畫報 少年 日本幼年 少女新聞
發行所 東京市京橋區鍛冶橋外 東京社 (振替四千九百番)
賣捌店 全國各書店

△廣告▽
轉居
京都市下京區下河原町(高臺寺南門北)
長島晶次郎
右紙上を以て在鮮御知諸君に謹告す 七、五、二〇

新苧値下廣告
謹啓時下新緑の候各位益々御隆盛の段奉大賀候偖而今回弊社製品新苧(俗稱護陽苧)を從來の定價より五分引にて御需用に可應候に付多少に拘らず御用命の程伏而願上候
京城並木町二七六番地
京城織紐株式會社 電長一一八八番

△實用和服セル▽
一、單衣、夏羽織 仕立上げ 金八圓九拾錢 ●送料鮮内十二錢外三十錢
▲呉服物一切昂騰の折柄總ての御厚情に酬ゆる爲め特に研究の結果賣出候品に有之候々御用命奉願上候
▲地方より御注文は御申越次第見本切送付可申上候
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 電話[illegible] 振替京城[illegible]

募集
校外生 本科生 專科生
素人を短期養成し成功の途を授く 直に規則を求めよ
大阪分校新設紀念特典を掘れ 技師販賣員として莫大の收入を必ず得べし
東京京橋南紺屋町 自動車學校

京日案内 普通

電話讓物あり百代の三盤もの希望の方は左記へ至急申込まれたし(社內電話一六番へ) 120
中古冶金天秤至急讓受度 秤量五瓦又二瓦感量五十分一瓩(八敦)[illegible] 京城花園町六七
●事務員採用 但英語に堪能なる者二名希望者至急來談(姓名在社)
飲料 氷御小賣 若草町大通下る東側 電話二〇九三 入田屋 朝日組 119
●事務員採用 但簿記の心得ある者希望者は午前中本人乞來談 長谷川町七六 京城殖產會 118
◎下宿客付道具付の儘讓渡度希望者は至急來談あれ 吉野町元仲の新地 植木 126
●大有望○鯉取散の行商及小賣商を募集す○時節として最も適當 京城南米倉町交番所前 藤井 127
◎男女事務員募集 希望者は履歴書持參あれ(電話二二五〇番) 南山町一丁目上ル朝鮮及滿洲社 125
鰻まむし東京すし開業 大勉強 其他夏向即席料理調進 一の家 旭町一丁目電二八一五番 出澤屋 124

番外
◎貸家 貸弐拾圓水道付き 間數四間 京城初音町二〇〇 電話一八〇六番 野中 133
堂主歸省中ノ處歸宅從前の通り治療に從事仕候(電話二五九五番) うちみ くじき 整骨所仁壽堂 明治町(フランス)教會門前 102
朝鮮パナマ帽子 ▲特價壹圓五拾錢均一▼ 製造元 京城本町二丁目 北村兄弟商會帽子部 100
製糸女工募集 十四歲以上廿五歲迄月收拾圓以上現在女工二百名あり(京城二坂通南廟横) 合資會社 齋藤製糸社 99
恩給 年金長期低利即金立替 一切の公債證券物質買 ▲擔保貸附 京城若草町百六 電話三〇一一番 西村商會 69
舊恩給 月一步二厘五毛本人直接 櫻井町一ノ一九八 長電二五〇番 博多屋本店 66
年金恩給 最長期即時立替 利極安前引なし ▲四年半迄保險不要 ▲京城永樂町 商品陳列館前 江州屋本店 46
◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 24

◎對佛日本勳章贈呈

ヅ將軍の答辭『感謝に辭なし』

二十一日朝佛國將軍に日本勳章を贈呈するに就き巴里にて閲兵式行はれたり松井大使は巴里衛戍總督ヅベー將軍に面會し贈呈の辭を述べたる其一節に曰く『予は貴國の勇敢なる軍隊が爀々たる勳功を樹て世界最高の賞讃を博せる時に當り此榮譽の褒章を贈呈するを誇りとす』と、ヅベー將軍は之れに答へて曰く『予等は日本の皇帝陛下より贈られたる名譽の勳章に對し如何に深く感謝するかを述ぶるの辭を識らず我等は此機會に日本軍隊に對して有する讃歎の情と日本の協力に對する感謝の情を表明せんとす』と（巴里電報）

◎獨軍大攻擊豫習

後方にある獨軍は將に來らんとする大攻擊の豫習を爲しつゝあるが右は前線にある部隊が攻擊を行ひたる後引續き攻擊を行ふ可き作戰運動の豫習なり此等の部隊は去る三月聯合軍突破を試みたる部隊より成り敵に於て優勢なるもの、如く再び編成されたる獨軍師團は五月に入り激戰の爲め疲勞せり（巴里電報）

◎彼我兩軍陣容整ふ

アーブル河流域及びアルベール地方に於ける獨軍飛行隊の活動及び砲擊の猛烈なる之れ將に來らんとする攻擊の唯一兆候なり獨逸軍はジンネンベルグ、ノアイヨン間に佛國にある全兵力の約三分の一即ち二十四箇師團を有し全戰線に兵力の再配置を行ひ且つ多數の兵力を後方に撤退したり但し敵は其の交通線を通して河水の地點にても二十四時間以內に軍隊を集中し得可し之れに對する我防禦線は全戰線に互りて陣容整ひ統率權は一人の手に歸し居れるを以て敵の兵力は從前の如く優良なりとするも顚倒的勝利を得る自信を放棄せざるを得ざる可し（巴里電報）

◎英軍航空隊奏効

本月二十日英軍航空隊はカッタロに於ける敵の海軍飛行場及び潛航艇根據地を襲擊し埠頭附近の建物若干及び兵營等に火を放てり尙我襲擊隊は敵の射空砲及び追擊飛行隊の砲擊を受けしが無事歸英せり（羅馬電報）

◎廣東進擊開始命令

陸軍辨公署は二十三日龍濟光、李純、陳光遠等に打電し廣東に內訌生じ孫文既に日本に去り廣東攻擊の好機會なれば速に兵を進め進擊を開始せよと命令せり（北京特電）

◎政府の不自然 相場矯正

政府は不自然なる公定相場出現の主因を小口落若くは賣買にありと認め之れを禁止せんとする方針を執ることに決定し先づ從來の小口落法に對し各仲買及び取引所の自發的反省を促し尙必要ある際は勅令の發布及び關係諸法規の改正を爲す可く言明せるを以て全國の株式、米穀、綿絲、生絲等の各取引所仲買等は一大恐慌を來し善後策を講じつゝあるが之れが爲め二十三日來株式は一齊安を告げ期米も目先警戒の姿なり（東京特電）

◎露國富豪來朝

此の程來朝せし露國富豪バドリン氏一行は昨今京都滯在中也（京都電話）

◎市場建設

‖市場條規案完成‖敷地愈々決定‖

京城商業會議所にては既記の如く二十二日午後二時より公設市場問題及び同所募集朝鮮內事業計畫案に關し役員會を開催せるが市場問題に就ては議愈々進み既に▲市場條規案の草案も作成され居る狀況なり本件に關し大村書記長の談を聞くに公設市場新設計畫に關しては從來內外各地に互りて調査の歩を進め熱心研究中であつたが未だ嘗つて評議員會若しくは役員會に掛けた事はなかつた併し既に機運熟し監督官廳に於ても充分協贊の意を表し居るのみならず當所に於ても殆んど其の調立の結了に近づいて來て市場規則の草案も完成した曉であるから愈々役員會を開き而して市場條規の不備な點其他に就いて普く公衆の指導を仰ぎたいと思つてゐる一時問題となり相だつた▲市場敷地の如きも運動の結果東拓横李王家所有地に決定したが右は監督官廳の意向其他の關係に依つて豫て公賣の計畫であつた李王職も茲暫らくは其の期間を引き延す事となつたのである其で會議所は公設市場新營の具體案を具して正式に前記敷地の貸下を李王職に乞ふ手筈となつて居る之と同時に當然市場統一を爲すべき筈の公共團體たる京城府にも交渉を開始する事とした道廳總督府等でも京城府が公設市場の經營を爲す事を當然だと認めて居るのみならず之れを勸めて居るからである、其れで若しも京城府が何かの事情で▲俄かに經營することが出來ない場合には會議所で實現する事が出來るのである斯んな有樣であるから公設市場が京城に出現することも蓋し遠いことではあるまい而して其の設計案の如きも專門家に依囑して作圖中である目下會所の腹案としては東拓横空地約五千坪の內に圓形若しくは楕圓形の場屋を設け之れを小賣場に充て其の四圍に鰥場、卸場倉庫（冷藏庫、保温庫等）便所等を配置する積りとなつて居る建坪總數一千五六百坪で內小賣場百軒約八百坪鰥場卸場等約四百坪倉庫約三百坪見當であるから便所其他の敷地を計算すれば約▲一千五六百坪を算する譯となる其れから小賣場屋の中央廣場の面積が約一千坪見當となつてる以上は第一案であるが其の第二案として市場は夜間總て閉鎖すべきものであるから附近に人を吸收する爲めに劇場の建設を爲さうと言ふ計畫を立てた此の劇場は勿論市場と全然別個のものとして孰れ形式は爲す事だらう、市場建築費の如きも會議所が造るとすれば約十萬圓見積つて居る之れは債に因る外は無からうどうして經費の一と言へば五千坪の借地料坪十七錢と見て年八千圓、十萬圓の金利一見て七千圓、市場經營費月額五百圓年額六千圓合計約二萬八千圓は支出の部と云ふ譯である▲市場の賣上 數量が增加すれば始めの計畫よりも早く償還することが出來る目下京城に於ける市場の賣上高概略五百萬圓とすれば公設市場に吸收し得べきものを五分の一と見ても百萬圓乃至百二三十萬圓と言ふ見當となるのであるが併し事實に於ては之より遙かに多額二百萬圓位の賣上高は豫期して採算する事が出來るのだから起債しても極めて安全な方法と言はねばならぬと信ずる

◎貨車積載數量

滿鐵京城管理局調査四月分貨車積載數量を聞くに車扱に於て使用車輛數七千五百四十九輛此の正噸數十三萬千八百噸、噸扱に於て使用車輛數二千九百五十一輛此の延噸數二萬八千七百七十噸合計車輛一萬五百噸數十六萬五百七十噸にして之を一日一車平均積載量に就て見るに大形貨車（二十二噸及び二十六噸積）の車扱に於て十九噸、噸扱に於て十噸小形貨車（十噸積）車扱に於て十噸（滿載）噸扱に於て六噸なるが總體に於て好成績を示し居れり

◎曲解は無理も無い

軍事協定に關する日本諸新聞の沈默と支那紙の臆測 宇垣陸軍少將の車中談

日支軍事協定を成立せしめし陸軍少將宇垣一成海軍少將吉田增次郎の兩氏は隨從武官と共に二十四日夜京城通過東上した京義線の車中に迎ゆると縞脊廣に巨軀を包んだ◆豁達精悍の宇垣將軍はハツ／＼と輕く笑ひ／＼葉卷を燻らして語る、今朝（二十四日）京城通過の筈だつたが奉天の張作霖督軍が數回北京に電報を寄越して是非奉天に寄れと求められたので一日を奉天に潰したのである、問題の日支軍事協定に就ては別に督軍の批評らしい言葉も聞かない、內容は既に熟知してゐるのだから頻りに結構な協調當然の申合せだと云つてゐた北京には吾輩◆二月下旬に著ゐて居たから恰度三箇月を費やした譯だ、往路東京大阪では九州の演習地に行くと稱し朝鮮で京日の諸君には滿洲視察と語つたが作戰圖に當つて協調の內容は秘密となつてゐるから何にも感付かれなかつたらしいから吾輩の口から何とも申されぬけれど交渉の任に當つた支那側の委員長靳雲鵬將軍は昨秋日本の陸軍を彼是一箇月餘視察してゐた人だけ分りも早く話しもしよかつた協調進行中から內容に關する臆測は支那側にも盛んだつたやうだ◆支那の新聞に軍事交渉云々の事が載つたのは客月の十日頃だつたと思ふが何しろ日本の新聞がウンともスンとも書かねので支那側はコレは的切り日本に非常に有利なつまり支那の領土若くは利權の侵略を受ける樣な片務的の協定と誤解速斷したらしい、然しそれも無理はない譯だが出來上つた協定は一部支那紙の姿へたやうなものでなく獨禍の東漸を日支協同で防備すると云ふ事を主眼としてゐるのだ陸軍側の交渉は十六日にすんで◆直ちに調印を終り山崎少佐が携行して歸東した、海軍の方は十九日に成立し京城を北に立つた稲山大佐が地に收めて行つたから吾輩等はぬけ殼の樣なものである、ハツハツハツと頻りに笑聲を發し軍事協定に就ては多く語らず、盛んに朝鮮談を試ろむ曰く毎年吾輩は朝鮮を通るが山の青味は年毎に加はる十年後の朝鮮の山は全く見違へるだらう◆道路が立派になつた然し草が生へてゐる所を見れば利用はまだ十分でないらしい、唯土地が安く勞力の徵發に鮮人の應ずる時やつて置くのは慥に上策だ、來る毎に鮮屋が綺麗になつて行くやうだ、どうも修繕や建て替へを段々やるものらしい、親しく農村に入らぬからよくは分らぬけれど民度は慥に高まつてゐるであらう民家に死葬の少ないのは死の需要が少ないから從つて死が高いからであらうなど◆頻りに車窓の觀察談をやり總督や軍司令官や師團長の曲辭を聞いたり朝鮮のむしあつい事をコボしては、こんなあつい京城に下車されるものか早く涼しい內地に歸るに限るなど、語る、紺脊廣姿の吉田海軍少將は謹嚴老將軍らしく黙々として葉卷を手より離さなかつた

◎新聞代金引上謹告

今回新聞紙の原價空前の暴騰を示し前二回の値上げを通算して戰前に比し約倍額と相成り加ふるにインキ其他の原料も亦非常に騰貴致し候に付き事情不得已在鮮各社協議の上値段引上げと決し其の結果大正七年六月一日より吾紙左の通り引上可申事に相定め申候

壹箇月に付貳拾錢値上

右宜敷御諒承被下度此段謹告仕候也

大正七年五月

京城日報社

◎廣東軍政府瓦壞

孫文陸派の壓迫に不堪日本に亡命

支那南方派の內訌は孫逸仙派の敗北に歸し孫氏は陸榮廷派の壓迫に堪へず五月二十一日夜戴天仇、胡漢民氏等と蘇州丸に乘じ日本に向ひたり孫派は南北妥協に於て純民黨の立場より飽も硬論を主張し北方武斷派に對抗し居たりしが形勢漸次孫派に不利と爲り孫氏は遂に一種の亡命者の體にて日本に赴くもの、如し而して茲に廣東の軍政府は全く瓦壞したるが陸派の督軍は新軍政府を組織し首領一名をして今後北方との折衝に任せしむる事に決せる由にて是れが任には岑春煊氏若しくは陸榮廷氏の中當る事となる可し右首領は南方派の全權を有すること、爲り居れりと言へば今後南北妥協は大なる進捗を見るに至るやも知れず（北京特電）

◎日支軍事協定上奏

日支軍事協定中の陸軍協定は十六日、海軍協定は十九日各調印せられたるが陸軍協定は十二箇條、海軍協定は八箇條より成り正文は漢文及び日本文の二種のみにして外國文にて作成せるものは無き由猶該協定は上奏を終りたる後樞密院に報告する事となる可く日本にては此報告にて、支那にては軍事協定に關する大總統令の發布を以て總ての手續完了するもの也と（東京特電）

◎特產品出品注意

福島縣物產陳列館にては本年度より縣外特產品の陳列を開始し之れが委託販賣をも爲す事となりたる旨京城府に通報ありたるが右は手數料として委託販賣したる金額の百分の五を納付すべく又出品物の荷造り及び運搬費保險料等は出品人の負擔と規定せられ居れり

◎百濟百種

今度東京に公使館を設くことに成つたヴオリウイア國の新公使レース氏は東京に在つて開設の準備中であるが氏は熱心なる日本研究家で日本に關する五六種の著述があるとのこと▲曰く『私の國は人口二百五十萬其三分の二を占めて居る土民の容貌は日本人ソツクリと云ひたい位だ風習にも似たところが多い例へば室內に入るときに履物を脫ぐのも他では滅多に見られぬ習慣だ土民は日本人と其祖先を同じうするものと信じて居る』と親類好きの日本人を嬉しがらせ▲『チチカカといふ湖がある其名の由來が何うしても判らなかつたが今度日本に來てチチカカは父母であることが解つた』に至つては土民のみならず西班牙種の公使其人の研究振りまでが日本の學者といふものに酷似して居る樣だから賴もしい▲北鮮から歸つた細迹將軍に客程の詩稿がありますかと問へば『吾輩は詩として作つたものが澤山あるが世間の人は四といふか五と見るか知らないダカラ新聞で發表するのは御免だよ軍機と同じで秘密だ前に京日に載せたのは小原長官や持地長官が機密を漏洩したので吾輩はういふ惡るいことはねツ失れしないんだ』

福岡より 大塊

新綠や日東の天子居ます國

大塊老居士久々にて歸京されたる日榮屋にて

老居士の冷水に浴す若楓 蟬

人事消息

▲大塚小一郎氏（日本銀行檢査役）二十四日夜入京天眞樓へ▲矢崎恒藏氏▲藤田辰雄氏▲藤田明三氏（日本銀行員）同上▲岩崎虎次郎氏（全州農工銀行支配人）同上不知火へ▲堀原秀吉氏 二十四日夜退京

◎調査局養成員出發

土地調査局養成員百三十八名烏山へ百三十九、水原へ何れも二十四日朝南大門驛發列車にて實務練習のため出發せり

◎祭粢料下賜

高陽郡守閔元植氏の嚴父閔泳宇氏逝去の趣畏き德宮に達し二十三日祭粢料として金二十五圓下賜せられたる由

東京より

致したるが如し、教授の停年とは後繼者を得ざる場合に限り一應除外例を設ける時は殆び年少の教授たる由たるが吾人も至極同感也 [illegible] 如く同一の講義を繰り返すのみにて、又除外例を設ける時は [illegible] る者を設けず六十歲に達すれば必ず [illegible]

◎ホ長官に取消要求

[illegible]

商業登記

日韓窯業株式會社監査役金吉辭任シ大正七年五月拾貳日左記監査役ニ就任ス

始興郡永登浦面永登浦里四百七拾九番地 三輪儀治郎
始興郡永登浦面永登浦里五百拾四番地 木腰虎

右大正七年五月貳拾參日登記

京城地方法院永登浦出張所

商業登記

金基玉ノ使用スル商號㊅合同普興運輸組ハ營業ト共ニ大正七年五月貳拾日京畿道平康郡平康面西邊里參百五拾八番地金鶴植ニ讓渡シ金鶴植ハ之ヲ讓受ケ取得シタリ

右大正七年五月貳拾貳日登記

京城地方法院平康出張所

朝鮮製紙株式會社

株式名義書換停止

自六月一日 至定時總會終了迄

手形無効廣告

手形ノ種類	約束手形
振出日	五月十四日
仕拂期日	六月十三日
振出人	安達熊太郎
受取人	村岡小一
金額	六百八十一圓
手形番號	第三號
支拂場所	漢城銀行南大門支店

右ノ手形無効ニ付此段廣告候也

大正七年五月廿四日

安達熊太郎

[illegible]

先づ一瓶を求めて他品に超越せる芳烈なる香味を試みよ

特約販賣店 仁川 河野竹之助 木浦 阿部儀右衛門 同 山口幸三郎 釜山 增永榮三郎 同 山邑支店 鎮南浦 吉富清助

釀造元 大連燒酎製造所

最新刊

書名	著者	定價
◎ポケット日鮮語會話	西村唯吉・鮎戶計太共著	定價七十錢
井上侯全傳	伊藤痴遊	一、五〇
戰後の研究百人一話	富山房編輯	一、五〇
公民年鑑	帝國教育會	六五
光と生物	石川 剛一	一、四〇
通俗鑛山事業物語	逸田 重弌	一、五〇
旋海横斷記	加藤 久勝	一、二〇
珍らしき自然界の現象	横山又次郎	一、〇〇

露西亞に遊びて 大庭柯公著 定價三十錢

書名	著者	定價
雜生 門	芥川龍之助	一、二〇
工業教育藥品細工	小泉吉兵衛・師範三田部	六〇
學校唱歌お伽噺	高島 淡水	六五
新式代數學講義	根津 千吉	一、三〇
新式算術精講	[illegible]	一、〇〇
家庭面白いお伽噺	中村 適堂	三〇
周易講義 上下	根本通明	各四二〇

西伯利號 地圖附 朝鮮及滿洲特別號 定價二十五錢

京城本町 大阪屋號 電話… 振替京城… （本店）東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山

橋本齒科醫院

京城南山町三丁目（電氣會社横路入る）電話二九二〇番

日本齒科醫學士 橋本清次郎

勸業債券高價買入

貯蓄の實行は最も手輕なる月賦賣 一ノ組六八回 二ノ組六七回 三ノ組六十六回…

二千圓の福德 每月くじの樂める組賣

支部出張所 代理店增設 有希望者は… 大日本勸業合資會社 東京丸の內有樂町一の三 振替口座東京壹壹七六

易斷

高島易斷本部主事高島吞明先生出張 受付午前八時より十一時まで午後三時より十時まで 場所 京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話二五七二）

神易協會 高島易斷本部

▲セメント著荷

京城古市町 苦米地商店 電話九四一、三一〇八番 振替京城五三三番

各種鑛物（分析依賴） 金銀精製（に應ず） 新發見鑛區買入

京城旭町二丁目七 中村分析所 電話一七

御使用先

朝鮮駐劄軍司令部廳舍其他諸官衙 目下建設中の京城印刷所新築工場

金剛石結晶 磨板硝子 入硝子 網入硝子 雪形板硝子 縞板硝子 硝子

兵庫縣尼崎市 本社 極東硝子株式會社

朝鮮一手販賣店 協同組商業部 京城府南大門通五丁目 電話…

種子の撰定を誤る勿れ？！

魯桑純粹特撰新種子 壹升に付金六圓
砧木用特撰新種子 壹升に付金四圓

新種子は五月廿日より迅速送付可申候（送料不用） 尙多量御注文は價格割引の御相談に應じ可申候

營業科目 杞柳栽培加工販賣 農具肥料販賣 蠶種製造販賣 綿花買入製造販賣

朝鮮京釜線芙江驛前 忠清農林社 振替口座京城五一三三番 電略（ノ）又ハ（ノウ）

開店御披露

鰻まむし（一名うなぎ丼） 東京すし

◎當五月二十五日より開店致しますから直ぐ御試食の上御批評を願ひます

京城旭町一丁目 一乃家事 出雲屋 電話二八一五番

[illegible]決し東北帝國大學に於ても教授會
に於て之を定むるを可とするに
[illegible]以からざる碩學にして是非其職に
居るを希望する場合、又は適當な
[illegible]恰も陸海軍の停年の如くすべしと
言ふに在り、東北の教授會にては
[illegible]の上より觀に面白からぬ結果を來
すべしとて之を設けざるを可とし
[illegible]蘊奥に進み入るを普通とす、唯夫
れ我大學教授の如く三十年一日の
[illegible]施するに就ては是非とも退職後の
老朽教授の待遇法を講せん事を望
[illegible]りは假令玉石共に之を挪ひ退ける
缺點はありとするも全然除外例な

切捨利子が四千餘圓

塵も積れば山で馬鹿にならぬ＝六厘からは一錢に殖す

◇人員の割合に預金の尠い譯◇

朝鮮郵便貯金の六年度に於ける利子決算が終つた、その利子ばかりが四十五萬圓とは一寸大きいが、利子計算に付細かいものも集まれば馬鹿にならぬと云ふ例に付貯金管理所の

◇◇遠藤所長 は曰く、『郵便貯金の利子を計算して例へば其の利子が一圓九十七錢七厘三毛となれば厘位以下たる七厘三毛は規則によつて切り捨てる事になつてゐる、然しその切り捨てた合計も百何十萬口と云ふ多數だから中々塵も積れば山の譬へも道理で

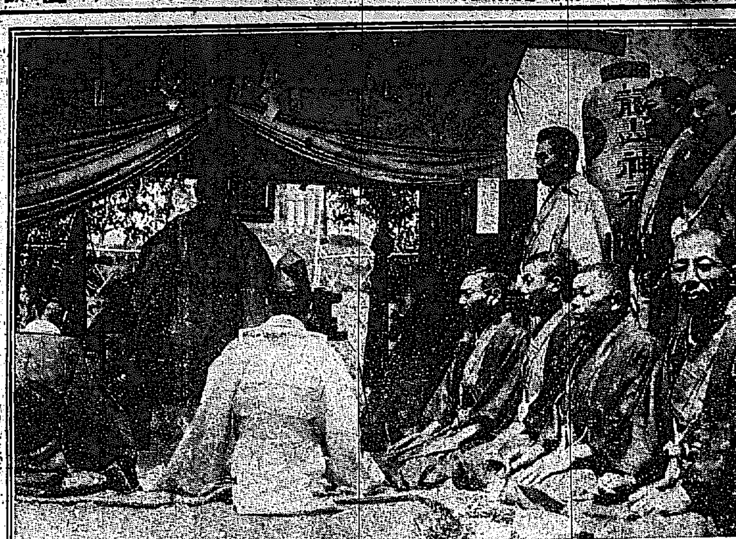
◇◇内地人側 一千零十二圓九十一錢七厘朝鮮人側三千五百十七圓十五錢七厘合せて四千五百三十圓餘りになる、それから厘位以下は一應切り捨てるけれど一人の貯金に一錢未滿の利子しかつかなければ——乃ち並に村田重澂と云ふ人がありその人の貯金が三十錢しかなく利子が六厘しかつかないと云ふやうなのは一錢の

◇◇利子に殖 してやる事になつてゐる、そいつも中々大きな額で内地人が一萬一千三百十八人の百十三圓十八錢朝鮮人が三十三萬四千九百四十二人の三千三百四十九圓廿二錢となる、乃ち言葉を換へると三十三萬五千人の朝鮮人の預入者は

◇◇厘位以下 の利子しかつかない郵便貯金通帳の所有者になつてゐる、朝鮮の郵便貯金が預入者は多いけれどその割に金額が殖ぬのはかうした點から來てゐる

賑つた清正公祭

龍山大島町加藤神社では二十四日午前十一時から春季祭典を執行した定刻になると園田祠官、齋主松本冊三氏を始め多數の氏子が參列し型の通り祝詞の奏上、玉串の捧献がある、午後からは餘興として相撲の催しがあつたが折柄空は紺青に晴れ申分のない『お祭日和』だつたので社前は押し返へすやうな賑ひ夜は今年始めての試みとして原價販賣を賣物にした夜市が立ち筑前琵琶の演奏があつて一層お祭氣分を漂はせた、何日本麥酒では當夜附近にビヤホールを開店したが其紅い提灯の灯はお祭に適はしい添景の一つであつた



漁場の爭奪

未だ解決に至らず

全北扶安郡下西面衣服里近海なる第一種免許漁業石首魚竹箭漁場(俗稱聞年草)は從來舊衣服洞簀頓知里の兩村民にて其漁業權を爭ひたるものなるが大正四年官憲の斡旋に依り漸く解決し頓知里民にて漁獵し居りたるが昨年末突然衣服洞の金榮漆なる者該免許は代表者氏名衣服洞鄭海邦なるよりコハ衣服洞の所有權なりと稱し井邑支廳に該漁場に對する漁業權の侵害排除假處分を申請したる結果頓知里は大に驚き同じく井邑支廳に右に對する取消申請を爲したる外一面道廳其他に對し事情を具陳し道よりは下村技手を派遣して仲裁に力めたるも遂に不調となりたり然るに本月十一日に至り井邑支廳より頓知里民申請通り取消決定を與へられたるより頓知里側は直ちに該漁場に臨み衣服洞の漁箭ある同一箇所に漁箭を立てんとして端なくも紛擾を惹起したるより警察官憲は双方の責任者を召喚し說諭したるも互に下らず未だ決するに至らずと

支那第一は段祺瑞氏の息

＝鮮滿共有段者は少數 關五段の碁談

入京中の老碁客關五段は二十二年間鮮滿各地を遍歷したるが其談に依れば

朝鮮から滿洲にかけて碁の流行は盛んなもので何處の土地に遊んでも碁會が頻々として開かれる然し

◇◇有段者 は頗る尠くて朝鮮などでは碁客としては平壤の中村三段、仁川の原三段、京城の山三段、滿津の早速二段の四人素人では京城の横山氏が最近初段になり此外に大久保辯護士や柳澤大郎地方法院長などが

◇◇初段格 であるが此外には嶄然頭を擡げ出すやうな人もないやうに思はれる滿洲では一時大連に金井、山の兩三段が居つたが年々衰微して行く爲めか何れも引揚げて了ひ今ではどん栗の背競べと言ふ狀態、奉天には初段が二人許り居るが之とて振はない、星は降る程あるが

◇◇お月樣 になるやうな碁客がないので何處へ行つても寂寥なるものである何こちらでも鮮人側は賭碁でなければ打たないさうであるが支那人は更に極端で北京には高部五段が行つて居るが賭碁が激しいため少數の人を相手にして居るのみで

◇◇普及は 毫もして居ない横樣である私は京城を出發して奉天に暫く滯在しそれから北京に向ふ心算である、支那で一段祺瑞氏の息の段宏業氏が方關社の二段で今の處では支那唯一の稱があるが蕭親王も非常に日本碁を愛して熱心に研究中である

夏物珍柄陳列會 生花盆栽展覽會

愈今明日開催(午前九時より午後六時まで)

井上博士 講演日程

＝廿六日朝入京

總督府の囑託を受け朝鮮内各地に於て講演の爲め二十六日朝(昨夕刊夜とせしは誤植)入京す可き文學博士井上圓了氏は同日午後三時より高等女學校に於て朝鮮教育會、朝鮮及滿洲及本社聯合主催に係る講演會に於て『國民道德の大綱』及『心理的妖怪』の二題下にて講演を爲すべく一般の來聽を歡迎す尚右の外京城に於ける講演日程左の如し

△二十六日(日曜)午後一時より二時半愛國婦人會主催にて南山本願寺△二十七日午前九時より京城高等女學校△一時より三時京城高等普通學校△十時半より龍山鐵道俱樂部△二十八日午前九時より京城中學校△午後二時より三時半南山本願寺(主催)△四時半より遞信局

發疹チブスとは什麽

既に十餘名の患者が出た まだ病原體が發見されぬ

山口順化院長談

◇大正三年には東京で大變流行した事がある

此頃は發疹チブスが流行る、流行ると云つても一時に多數の患者が出るのではなくホンの飛び／＼であるが、既に今日迄に内鮮人合計で十二三人の患者が現はれ本院許りでも五人の患者を收容した、本院が發疹チブスの内地人患者として始めて收容した並木町の郵便所員土屋重作は發病後八日も經過して居たので手遅れとなり氣の毒にも二十四日午前遂に

◇不歸の客 となつて了つた、現在殘つて居る本病患者は二名であるが一體此發疹チブスとは什麽ものであらう、一口に云ふと鳥渡腸チブスに似た急性傳染病である、詳しい症候は後段に述べる事として先づ本病の特長を擧げると、發病と共に全身に發疹を見ると固有の熱型及び神經症狀を呈すること

◇病原體が まだ發見されて居らぬこと此三つであらう、今日學者の研究に依ると滿洲で流行る所謂滿洲熱と云ふは此の發疹チブスの事であらうと云ふ事になつて居るが、歐羅巴では隨分早くから發見されたものらしく古代希臘羅馬あたりの醫者は既に此發疹チブスを知つて居たと云ふ、歐羅巴で此病氣が猖獗を極めた際には一時に何百萬と云ふ死者を出した相だが我國でも

◇大正三年 の春東京で大流行を見實に慘憺たる光景を呈した事がある、無論夫以前にも此病氣はあつたのだが一時は『日本に發疹チブスなし』とせられた時代もあつて他の傳染病に比べると割合に知られて居なかつた

不動の傳說 不動盜賊(三)

白銅發掘について朝鮮古老の話

穴道を掘つて盜み出したが仕舞に足取機械にはさまれた

罪の賊はそれとは知らず少し遅れて横穴を這入つて行くと自分の腳が足取器械に掛つて目を白黒させて苦んで居る。器械は動かぬ樣に嚴重に石で取り付けてあるのでどうすることも出來ぬ。彼は早速の機智で

◇腳の首をチョン切つて 早速引返して來て家内のものにも何喰はぬ顔をして居るやう命じたのであつた。警務使の方では、今日は何ものか掛りはせぬかと足取器械を調べて見ると何ものか見事に掛つて居るが肝腎な首をチョン切られて無いので何ものとも判斷が付かぬ。これは困つたことをした、然し之れは

◇一人の行爲ではない 他に共謀者があるに違ないそのもの共を一網打盡せねば政府の權威に關すると云ふので警務使は色々と智慧を絞つて見た末考へ出したのは一つの策であつた。如何なる家庭でも死亡の日には祭をする祭をするには乾物屋と果物店で色々買物をする筈であるその買物をする奴を追究して見れば何か手掛りがあるに違ひない一同

◇乾物屋と果物屋とを 密偵するなと密偵に下知したのであつた、賊の方でも祭などから足が付いては警戒怠らず一年目の祭を小祥と云つて極鄭重にすることになつて居るが之れも斷めず其の他朔望の哀哭もせずに打過ぎたが歲月の流るゝは早いもので早や

◇三年の大祥が來たのであつた、賊も早や三年にもなつたから其筋の警戒も衰へたであらうとの考へから三年の大祥を祭るべく乾物屋にて買物するところを『御用』となつて遂に此の五里霧中に彷徨して居つた犯人を擧げ茲に警務使は名警務使の名を博するに至つたと云ふ傳說があるのである

裵龜子の奇術 二十四日夜黃金館にて

好人氣の天勝

裵龜子の奇術

松旭齋天勝一座の廓奇術の二日目二十四日は初日に增したる好人氣にて開場前滿員の盛況を呈したり奇術、舞踊、喜歌劇等は相變らず觀客の眼を喜ばせたるが中にも鮮人小女裵龜子が白紙中より本社の名ある美しき旗を數多取出したる小奇術は大喝采を博せり尚當夜京城日報、每日申報並に九州視察團員有志の名義にて天勝に電氣仕掛の美なる花輪を贈りたり

謹告

拙生出發に際しては公私御多用の折柄御見送りを辱ふし奉多謝候混雜の爲御尊名相漏らし候やも難計乍略儀以紙上御禮申上候

大正七年五月廿五日

東京青山南町三ノ五四

淺田靜治

小火二箇所

二十四日午前五時二十七分頃京城瑞麟洞八十番地李召史方の煙突の破れより發火屋根を燒きたるのみにて消し止む△同日午前九時十七分頃櫻井町二丁目二十五番地大工林田恒雄方より失火壁と天井と燒きて鎮火何れも常備消防隊出動せり

●金剛山ホテル料金改正 金剛山ホテルの米式宿泊料及歐式料金等に關する改正を爲し來る六月一日より實施すべし其の米式宿泊料一人一室一日六圓五十錢四圓五十錢(二人一室)一人一室一日十一圓、九圓、八圓五十錢の三種歐式宿泊料日五圓、三圓、二圓、一圓五十錢(二人一室)一人一日三圓五十錢の三種なり

●西大門監獄看守採用 西大門監獄にては今般内鮮人の看守を募集し不日採用試驗を行ふ由なれば希望者は志願書に履歷書を添へて同監獄に申出づ可しと

●給仕募集 京城本町警察署にては給仕を募集す希望者は年齡十五才以上十八才迄希望者は履歷書携帶出頭すべし

▲原色版▼
高木背水畵伯筆
金剛山勝探繪葉書 (一組六枚) 定價三十六錢 郵稅二錢
朝鮮名勝繪葉書 (一組三枚) 定價十八錢 郵稅二錢
金剛山の分は萬物相、朝霞、海金剛、元山港の朝、溫井里、玉龍淵の秋、赤壁江、朝鮮名勝の分は水原、大同江、金剛山を題材に描寫したる最も優良なる筆致の美しき者を以て印刷は歐米のものに比しも決して遜色なき鮮麗なる紙質を以てしたる良品なり
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇電話(局内十八番)

朝鮮特產藥用人蔘配合 人蔘精生葡萄酒 ニンジンキナブドウシュ

雜貨問屋 釜山大廳町 明治屋本店

洋酒 罐詰 糖粉 卸商 釜山 やまづめ商店

肥料 マルカク商店 釜山驛前 電話長八三 振替三九二番

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店

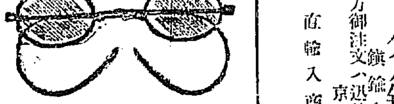
酒精、西貢米、砂糖、壺入燒酎 瓶詰 碎米 麥粉 大豆 大豆粕 食料品 雜貨 釜山埋立新町 福榮商會 電話長一〇八番

釜山商店案內

丸山南甫儀永年多大の御愛顧を蒙り候處今般舞臺を引退し撰拔優秀寫眞を携へ獨立全鮮各地を御訪問致す事と相成申候間何卒各地方御立寄り申し候節は可然御援助御引立を賜り度只管奉懇願候
大正七年五月廿五日
(いろは順)
早川演藝部 早川增太郎
ユニバーサル會社特約館 有樂館 新田演藝部
日本活動寫眞株式會社特約館 大正館 新田耕市
天然色活動寫眞株式會社特約館 黃金館 荒木大助
全鮮各位

不熟ながら深甚なる御愛顧と御恩惠に浴しまして京城のステージに立つて既に三年になりました此度有志の御後援のもとに全鮮各位を御應問致したひと存じまして出發いたします只今迄の總てに對し微力ながら目的の一部だにも貫徹することが出來ましたならば御厚恩の萬分の一をも酬ゆる事があらうと信じます蒸し局に當るものは迷の營へ此上共御指導下さりまする樣御願乞と共に御願申上ます
大正七年五月廿五日
丸山南甫
愛活者各位

建築金物土工用具一切 八角鋼並ニ黑鉛用金網 鑛鍋金物製作販賣 地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計リ可申候 直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店 電話百六十三番 振替京城一二〇番

眼鏡專門

△弊堂特色 レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强 (詳細定價表發行す)
京城南大門通一丁目三三番地 宮川大學堂 電話二九五九番 振替京城壹貳九番 (眼鏡製造工場弟子入用)

鐵工所開始謹告
弊行儀時勢の要求に鑑み今般鐵工所を開設仕り技術優秀なる技師職工をして左の諸製作に從事致し候間多少に不拘御用命被下度此段謹告候也
諸機械 汽罐 諸金物 酸素アセチレーヌ瓦斯熔接
大連市淡路町三十三番地 新隆洋行小澤太兵衛 電話長二〇〇番 二〇二番
大連軍川地區東方假十一號 工場 新隆鐵工所 電話七二六番

花吹雪

大阪 中谷青霞

（四十一）

唐土は迎ひの若侍に伴はれて、やがて小柿の家を出た。

柳島までは程遠からぬ田甫道の、春の宵はおぼろに霞んでゐる、紫の野良帽子に熊谷笠の夜目にもしるき伊達の風俗に、小褄きりゝと取上げたる、間草履の音もしとしとと、苑ら匂ひにこぼるゝ風情。

『唐土様とやら、誑暗い田舎道を常にお歩ひなされた事も御座るまいに、戀なればこそ、遠き路では御座らぬが、恁うしてお歩ひなさると云ふもの、いやも感心の外は

御座りませぬ、こんな事ならば納所へ提灯なりと借りて參れば可うござりましたに……。』

と後に引添ふて若侍は何とやらぼつぼつと歩む。

『いゝえそれには及びませぬ、それにしても戀ゆゑとは何うして御存じ。』

『いや何…それは主税之助様がお手紙の御様子と云ひ、お前様のいそいそとした歩きぶり、こりや的確戀と見ましたが何うでござりませう、有體誰か女性を連れて歸ると存じて居りましたが、お前様のやうな伊達なお方をお伴ひ申すとは露思はぬこと、自體女性と同伴など申した事のない某、意氣地もなう足がとぼついて、無念ながら他愛がござりませぬ。』

と若侍は遅れ勝に後に随ふ。

『その様な御追從は…ほゝ最う可うござりまする、それよりは今少し早うお歩きなされませ。』

『これは又酷い仰せ、成程主税之助様はさぞお待兼でもおはさう、お前様も早く逢たう御座りませうなれど二度と再びお前様のやうな方と、恁うして二人連で歩くことのならぬ某、精々ゆるりと歩いて頂くが功徳で御座りませう。』

『ねーも其様な戯れ言は可う聞きませぬ、妙見院は未だ遠う御座りまするか。』

『いや最う程は御座りませぬ。』

『なればサア早くお歩きなされませ。』

唐土は氣もそゞろに路を急ぐ。

『いや最う爰が妙見院の裏、右手の潜りをお這入りなさると、その木立の朱塗の妙見堂が御座ります、其廻り椽の處に主税之助様はお待兼ね、方丈に知れては面目を失ふと編笠かぶつてゐられる等、某は茲で御免を蒙つて、後刻又お迎ひに參りまする、氣をつけておいでなされ。』

云ひ乍ら若侍は立止つて、小門の潛りへ唐土をツと突き遣る。

『ねーそれでは妾迷ひませう、今少し案内のして……。』

と云ふをも聞かず、若侍は早何處へやら姿は消ねる。

唐土は詮方なく、熊谷笠脱ぎ取つて紫帽子そのまゝ、門を入り四邊を見るとおぼろ夜の薄闇がり木立の茂みに燈明の灯の一二點、ポツリと燈る妙見堂を目あてに、いそいそと歩み寄り。

『主税之助様、何處におはす、唐土でござりまする。』

と呼べど答ふるものもない、ハテと小首を傾け乍ら、椽を廻ると向うと闇り編笠の若侍は、さてこそ戀しい其人と唐土は駈け寄つて縋りつき。

『主税之助様、唐土でござりまする、お待なされたで御座りませう。』

『いや然うでもない、念なう早かつたまで。』

云ふ聲は主税之助ならぬ野太い聲音。

『や、お前は誰…。』

と唐土は手を放して眈と見る。

『誰でもない、拙て知己の郷川だ。』

云ひ乍ら編笠ぬいだ顏は正しく郷川右衛門。

『わツお前は…。』

とばかり唐土は愕然と慄いた。

京城本町 千代田號印舗 電話九八七番

補血强壯のふり出し藥 人參煎 一日分十錢 十日分九十五錢 廿日分壹圓七十錢 婦人病の妙藥 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

◇
ごよめくさ見ればボールは高くとびやがて落ちたり若き草地に　ていー
◇
君がため萌く追憶の半かなしき吾が宵五月の雨降りて居り　静雰
◇
罌粟もかし貝摺箱も顧みず妾は日曜を教會にゆく　脩郎
◇
芍薬の牧場の土にわれ等はも紅の花はぐみにけり　爽子
◇
れきごとの一つ足へばなゐ一つれぎの願ひのかなしきわが身　よね子

湖南吟社句會

於大田於風居

青鷺

水田漁る青鷺の簑毛濡しふき　淡水
青鷺や夕月に踏む影長し　同
青鷺や水涸れ池に泡溜り　不倒
青鷺や川を渡る風吹き出てし　花女
青鷺や沼を嬉りて夕雨す　十亭
青鷺や湖杭仰く向川岸　中京
青鷺や小田を抱く水郭落　風骨

栗の花

鐘で來る典路の裏や栗の花　桃雨
疱瘡除けに札張る里や栗の花　同
栗の花人來て喰ふ孕豚　[illegible]
教場の背暗うして栗の花　[illegible]
栗の花堂宇寂ゝ關い白き猫　[illegible]
栗の花見つゝ女の默しけり　[illegible]

田植

週用治るに栗の花月村酒なし　[illegible]
早咲くや丘半腹の花蕎　[illegible]
植終へて田水濁りな月となり　[illegible]
御田植ゑて俄かな月の路戻る　[illegible]
植ゑて退く神田に風の音しく　[illegible]
稚す總な水にうつして田植哉　[illegible]
大男揃休線取つて田植二三哉　[illegible]
早乙女一過に投げし餘り苗　[illegible]

夏物新柄着 (三) まる三呉服店 京城本町二丁目

讀者の領分

[illegible]

日報歌壇

□一人一首　あづき

灯木の開ゆ流る[illegible]ラ[illegible]ツク散りしく夜ふけ[illegible]

◇

丑月の夜たまたま風の盗りくればわが心にかな　葉一

◇

道ゆくと夏の帽子の人が見ればわが世たのしく初夏となる　金澤居庵

◇

しめやかに春雨のふる畑のもとなやましげなる一重山吹　智世子

◇

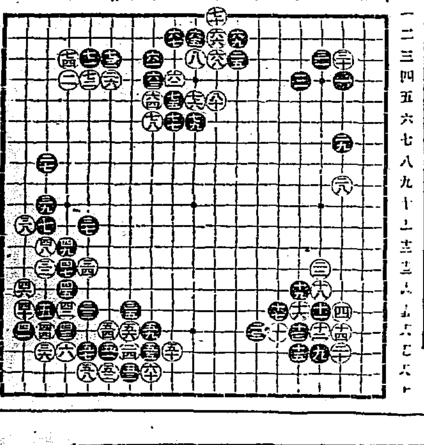
夕ぐれの杜に寄りて風吹くひとの瞳か美しく見たり　みつる

碁戰 (四)

大正七年五月二十日(於京城日報社倶樂部) 京城日報主催圍棋會

先 五段 柯亭 關源吉氏
三段 山平壽氏

●六一 チの三
○六二 ルの四
●六三 チの四
○六四 チの五
●六五 ヌの二
○六六 ワの二
●六七 ルの二
○六八 リの三
●六九 チの二
○七〇 リの一
●七一 ヨの三
○七二 ヨの四
●七三 カの三
○七四 タの三
●七五 ルの五
○七六 ヌの五
●七七 ルの六
○七八 チの六
●七九 ヌの六
○八〇 リの五



ホシ人參製劑

藥用人參の効用

赤垣源藏と朝鮮人參

▲大石内藏之助の苦心=眞理は永久に眞理
▲人參製劑を服用する人の先づ心得置くべき撰擇の標準
▲血行を良くし、身体を温め、体力と腦力を強む

雲右衛門の「赤垣源藏徳利の別れ」を聽ける者は、何人も其一節に

これは人參を細末にしたものぢやが姉上樣は

持病が癪…………こ

あるを御記憶にあるべし。之れは大石内藏之助が吉良上野之介の邸宅に討入るの際、同志の者に授けて、萬一刀槍の傷を受けたる場合、又は疲勞を覺えたる時の氣付藥に用ふべき護身藥として分け與へたるものなり。當時に於ても人參は古來より萬病に靈驗ありと傳へられて賞用せられたれど、其價著しく高價且つ良品稀なりし爲、容易に之を購ふ能はざりしなり。爲に人參を得んとして産を傾け身を賣りたる例乏しからざりき。されば大石良雄が當人參を四十七士に與へんが爲めに、之が蒐集せる容易の苦心には非ざりしなるべし。而も良雄が種々の犠牲を拂ふても尚之を集めたるを見れば、如何に人參が貴重なるかを知るにたるべし。

然るに明治維新後歐洲の文明が流行的に輸入せられ、爲に諸事凡ての熱潮に達し、草根木皮を口にするものは舊思想の人として冷笑せられゐたり、其結果之等の流行的思想に誤られ、人參も一時世上に忘れらるゝに至りしが、然しながら、眞理は終に眞理たるを失はず、最近に於て米國人ラフィネスク氏を嚆矢として多くの學者間に人參の化學的研究行はれ、其結果滋養強壯劑として最も卓抜せる効果を有することを發見せられ、近來再び人參諸用の聲喧しきは、この化學的研究に依つて効能を立證せられたるが爲に外ならず、而して各學者の研究の發表によれば人參は日本、支那、米國、朝鮮等に於て産出すれど其効果に於ては朝鮮生のものに出づるものなしと云ふ。殊に朝鮮の内にても本場開城産のものゝ最も優れたる効果ありと證せらるゝは、能く人の知る處なり。然しながら開城産人參の良なるものは頗る高價にして、容易に得難く、嘗つて李完用伯は目方九十匁の人參一本に三千圓を投じたりと言ふ程なり、されば市場多くの人參製劑は本場産のものを原料とするに堪へずして、竊かに他地産のものを混入しつゝあるもの尠からず。星製藥株式會社の發賣に係るホシ人參製劑は朝鮮總督府顧問三宅博士が、本場開城産の逸品中より更に優良なるものゝみ撰擇し、絶對に他地産のものを混入せずして化學的に精製せるものなれば、數ある人參製劑中最も優秀確實なるものなり。而してホシ人參製劑は精力を盛んにし、腦力を強め、血行を良くし、身體を強壯になす作用を有す。

主なる効能としては
神經衰弱、ヒステリー、精力減退、貧血
肺病、眩暈、リウマチス、子宮病、血の道
神經痛、營養不良、老衰、陰萎、腎臟炎

等に用ゐて最も卓絶せる効能を有す。殊に血の循環を良くするが故に常に血液清淨に、色白く生々とした顔色となり記臆力を強め体重を増す。

種類	効能は何れも同じ
ホシ人參丸	廿錢 五十錢 一圓 二圓
ホシ人參錠	五十錢 一圓
ホシ人參末	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參エキス(流動)	五十錢 一圓 三圓 五圓
ホシ人參葡萄酒(那規)	一圓五十錢
ホシ朝鮮人參(生)	一圓 二圓 五圓

東京京橋南傳馬町
星製藥株式會社
電話京橋 一七八五
振替東京 二〇五二二

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に可成廉價に御應需候 京城日報社寫眞製版部

百円進呈 りん病 ばいどく(請合藥) 特製參圓 特製貳圓 並製壹圓廿錢
帝國醫科大學病院等にて實驗 分析料百圓進呈
▲にせ物▲ 大阪有田 製藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部
支店 京城黃金町三丁目 龍山 釜山大廳町二丁目 仁川宮町二丁目
長電話二五六七番 振替京城四六七

京城自動車部 金泉支部 間自動車著發時刻 [illegible]

釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月日後五時出
○立神丸 月日後五時出
○元山、浦津、浦鹽行 和歌浦丸 月日後十時出
○立神丸 月日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 四月 日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 大池回漕部 日後六時出

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
◎神戸、大阪行 日清丸 六月八日 後五時出
△日清丸 六月十七日 後五時出
仁川出帆 元 七月 帆
◎清津行 安平丸 六月五日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 六月三十日 後九時出
◎大連 出 帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月七日 前六時出 基隆丸 六月 日 後四時出
内地各港出帆主要航路
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
南洋行 毎月二回
孟買行 毎月一回

御注意
仁川各汽船切符發賣所 京城 仁川京城切符發賣並取扱所 京城案内所 仁川本町一丁目 電話七〇八番

日本郵船出帆 大連行 天津行 五月三十日 正午 相模丸 三河丸 六月九日 高砂丸 五月 日 仁川海岸町十一番地 堀回漕店 電話

尼崎汽船出帆 仁川出 神戸、大阪行 秀吉丸 六月一日 後四時 君代丸 五月廿六日 後四時 大有丸 六月十五日 後四時 山木浦、釜山、下關、神阪行 仁川海岸通一丁目 山彩回漕部

三共同汽船 仁川出帆 大連直行 共同丸 五月廿八日後入港 五月廿九日前出帆 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 南大門 京城代理店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○敦賀行 清津發城津 平壤丸 五月廿八日 元山發 五月卅一日 清津 平安丸 六月四日 元山發
○浦汐行 大阪發門司、釜山、元山、城津經由 平安丸 六月六日 元山發
×京畿丸 五月廿五日 釜山發
○雄基行 關門發釜山 元山經由 五月廿八日 釜山發 忠清丸 五月三十日 釜山發 元山發 六月三日 元山發
○元山雄基線 元山發 鏡城丸 五月廿六日 元山發
○大阪行 門司神戸經由 山陽丸 六月一日 元山發 六月十日 釜山發
○關門行 東京發各港經由釜山 廣耶山丸 五月廿六日 元山發 五月廿九日 釜山發 六月 元山發
○金剛山遊覽便 丸 月 日 元山發
○鬱陵島行 盈德丸 五月廿九日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸 毎日 釜山浦項發
○濟州島行 昌平丸 五月廿九日 釜山發
○濟州島行 木浦發 東萊丸 西廻慶興丸 五月廿九日 五月廿六日 木浦發
○釜山濟州木浦線 州丸、巨濟丸、統營丸 毎日
○木浦麗水線 金海丸 五月廿六日 木浦發
○多島海行 慶興丸 六月二日 木浦發
○木浦 慶寶丸 五月三十日 仁川發
○鎮南浦行 錦江丸 成歡丸 毎日一回 仁川海州發
○海州行 全州丸 六月一日 仁川發
○青島行 江原丸 五月三十日 仁川發
○鎮南浦大連直行線 宗信丸 六月一日 鎮南浦發
本社 京城南大門通(電話一一九五番)
釜山港佐藤町 元山港 仁川港 木浦港 京城 各代理店 釜山支店 元山出張所 堀回漕店 中野回漕部
京城南大門驛前 松京運送店 電話一一七番

大阪株式 東株新 下關期米 仁川米豆取引所 [illegible]